

平成 25 年度
北区障害者実態・意向調査

報告書（概要版）

平成 26 年 3 月

北 区

目次

1. 調査の目的	1
2. 調査実施概要.....	1
3. 設問構成.....	2
4. 設問項目の区分設定.....	4
5. 前回調査との比較について.....	4
6. 集計結果の留意点	5
7. 調査結果.....	6
(1) 障害の区分.....	6
(2) 基本属性.....	6
(3) 情報や相談について	12
(4) サービスについて	16
(5) 通院・入院状況について	25
(6) 生活する場所について.....	26
(7) 就労について	30
(8) 介助者について.....	34
(9) 障害児について.....	37
(10) 成年後見について	39
(11) 災害対策について	40
(12) 社会参加について	43

1. 調査の目的

本調査は、平成 26 年度に予定している北区障害者計画及び北区障害福祉計画の策定に向け、計画の基礎資料となる区内身体障害者、知的障害者、精神障害者及び難病患者の生活実態及び障害者福祉サービス利用状況を調査するとともに、障害福祉施策への意向を把握するため、アンケート調査による実態調査を行ったものである。

2. 調査実施概要

(1) 調査の種類及び対象者

調査の対象（種類）は、身体障害者、知的障害者、精神障害者、難病患者の 4 種類とし、対象者は、北区民のそれぞれの該当する障害者（患者）から抽出した次に示す計 4,000 人である。

- ①身体障害者実態調査・・・1,800 人
- ②知的障害者実態調査・・・700 人
- ③精神障害者実態調査・・・700 人
- ④難病患者実態調査・・・800 人

(2) 調査実施方法

本調査は、郵送（配布、回収）によるアンケート方式で実施した。

(3) 回収結果

アンケート調査の回収結果は、各種別別に次表のとおりであり、回収率は、55.0%、有効回収率は、51.1%であった。

	身体障害者	知的障害者	精神障害者	難病患者	合計
配布数	1,800	700	700	800	4,000
回収数	1,059	349	307	485	2,200
回収率	58.8%	49.9%	43.9%	60.6%	55.0%
調査不能	58	23	26	48	155
有効回収数	1,001	326	281	437	2,045
有効回収率	55.6%	46.6%	40.1%	54.6%	51.1%

なお、調査不能が 155 票あったが、その詳細については、以下のとおりであり、「答えたくない」が、88 票と多かった。

◆調査不能理由

	身体障害者	知的障害者	精神障害者	難病患者	合計
1. 長期不在	14	3	3	6	26
2. 答えたくない	23	14	18	33	88
3. その他	21	6	5	9	41
合計	58	23	26	48	155

3. 設問構成

本調査のアンケートの設問構成は、下表のとおりであり、全体で 34 問（枝番を含めると 65 問）である。その他、最後に「自由意見」の記述を設けている。

設問構成

分野	問番号	設問	回答方式	限定質問	前回調査
回答者	問1	回答者	SA		○
1. 回答者自身のことについて	問2 (1)	性別	SA		○
	問2 (2)	年齢	NA		○
	問3	現住所	記述		
	問4	障害者手帳の種類別有無	MA		○
	問4-1 (1)	身体障害者手帳の等級	SA	※	○
	問4-1 (2)	身体障害者手帳の障害名	MA	※	○
	問4-2	愛の手帳の度数	SA	※	○
	問4-3 (1)	精神障害者保健福祉手帳の等級	SA	※	○
	問4-3 (2)	精神障害者保健福祉手帳の疾病名	MA	※	○
	問4-4	都医療券（難病医療費助成）の疾病名	MA	※	○
	問5 (1)	障害程度区分	SA		○
問5 (2)	介護保険制度の要支援・要介護度	SA			
2. 通院や入院について	問6	通院の頻度	SA		
	問7	最近1年間での入院の有無と入院期間	SA		○
	問7-1	入院した理由	MA	※	○
3. 住居について	問8	暮らしている住居の形態	SA		○
	問8-1	同居家族の状況	MA	※	○
	問8-2	同居家族の人数	SA	※	
	問8-3	「グループホーム・ケアホーム」施設の入居期間	SA	※	
	問8-4	「入所施設・病院」の入居期間	SA	※	
	問9	将来暮らしたい住居	SA		○
4. 収入・就労について	問10	収入の種類	MA		○
	問10-1	仕事による収入の場合の仕事の形態	SA	※	○
	問10-2	仕事による収入の場合の仕事の職種	SA	※	
	問10-3	仕事による収入の場合の収入額	SA	※	
	問11	今後希望する仕事の形態	MA		○
	問11-1	「会社等の正規職員」を希望した人の働く上での心配事	MA	※	
	問12	障害者が働くにあたっての必要だと思う支援	MA		
5. 介護・支援について	問13	介護や支援など支えてくれる人	MA		○
	問13-1	親族の中で最も支えてくれる主な介護者	NA	※	○
	問13-2	主な介護者の年齢	SA	※	○
	問13-3	主な介護者の性別	SA	※	○
	問13-4	主な介護者の現在の仕事の状況	SA	※	○

分野	問番号	設問	回答方式	限定質問	前回調査
6. 日常生活について	問14	平日の昼間の過ごしている主な場所	SA		○
	問15	余暇の過ごし方	MA		
7. 外出・地域環境・交通について	問16	外出時に困ること	MA		
	問17	18歳未満の子供と一緒に外出する時に困ること	MA	※	
8. 情報や相談について	問18	区政や福祉サービス情報の入手先	MA		○
	問19	悩み事や困ったことなどの相談者（相談機関）	MA		○
	問20	悩み事や困ったことなどの相談内容	MA		
	問21	相談しやすい体制づくりに必要な事	MA		○
9. サービスの利用について	問22A	障害福祉サービスの利用状況	SA		○
	問22B	障害福祉サービスの満足度	SA		○
	問22C	障害福祉サービスの不満理由	MA		○
	問22D	今後の障害福祉サービスの利用（継続）希望	SA		
	問23A	地域生活支援事業・相談サービスの利用状況	SA		○
	問23B	地域生活支援事業・相談サービスの満足度	SA		○
	問23C	地域生活支援事業・相談サービスの不満理由	MA		○
10. 障害児について	問23D	今後の地域生活支援事業・相談サービスの利用（継続）希望	SA		
	問24	18歳未満の障害児が受けている療育について充実を望むこと	MA	※	
	問25	18歳未満の障害児の外出時に必要な支援やサービス	MA	※	
	問26	障害児の就学後、教育や学校生活のさらなる充実すべきと思	MA	※	
11. 成年後見について	問27	「成年後見制度」の認知度	SA		
	問27-1	「成年後見制度」を利用しない理由	MA	※	
12. 災害対策について	問28	地震や火災などの災害への不安として感じる事	MA		
	問29	家族以外で災害時避難を助けてくれる人の有無	MA		
	問30	災害時に備えてとっている特別な対策内容	MA		
	問31	災害時要援護者の登録の有無	SA		
	問31-1	災害時要援護者の登録をしていない理由	MA	※	
13. 社会参加について	問32 (a)	現在取り組んでいる社会活動	MA		
	問32 (b)	今後取り組みたい社会活動	MA		
	問32-1	社会活動を行っていない理由	MA	※	
	問33	障害であるため諦めたり妥協したことの有無	MA		
	問34	今後必要だと思うもの	MA		

(注)：回答方式の（SA）は単数回答の設問、（MA）は複数回答の設問、（NA）は数量による設問

4. 設問項目の区分設定

アンケート調査を集計するに当たり、「年齢区分」については、次の通りとした。

番号	年齢区分
1	18歳未満
2	18歳以上～65歳未満
3	65歳以上

5. 前回調査との比較について

経年変化をみる項目については前々回調査（平成20年度）および前回調査（平成23年度）との比較を行っている。ただし、前々回および前回の調査と今回の調査で設問内容が異なっているものや、回答項目が異なっているものに関しては、比較の対象外とした。特に、前々回および前回調査では、難病患者の調査を行っていないため、比較していない。

なお、前回調査との比較で概ね5ポイントを超える項目（選択肢）については、増加したものには“△”を、減少したものには“▼”を記載した。

[前々回（平成20年度）の実施概要]

対象者	身体障害者手帳、愛の手帳、精神保健福祉手帳所持者（平成20年6月1日時点）		
	身体障害者	知的障害者	精神障害者
配布数	2,000	1,000	1,000
有効回収数	55.6%	58.2%	53.7%
方法	郵送による配布・回収		
調査時期	郵送調査期間：平成20年7月23日～8月15日		

[前回（平成23年度）の実施概要]

対象者	身体障害者手帳、愛の手帳、精神保健福祉手帳所持者（平成23年6月10日時点）		
	身体障害者	知的障害者	精神障害者
配布数	2,000	1,000	1,000
有効回収数	56.6%		
方法	郵送による配布・回収		
調査時期	郵送調査期間：平成23年7月13日～8月3日		

6. 集計結果の留意点

- (1) 回答結果は、小数第2位を四捨五入した有効サンプル数に対して、それぞれの割合を示している。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合がある。
- (2) 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示している。そのため、合計が100.0%を超える場合がある。
- (3) 標本数「n」は「number of case」の略で、質問に対する有効標本数（集計対象者総数）を表している。
- (4) 図表中の選択肢は、回答率の高い順に並べ替えている場合がある。また、表記の語句を短縮・簡略化している場合がある。
- (5) 数値間の比較で大小関係を示す場合は、個々の選択肢の比率の差をとり、「…ポイントの差」と記載した。
- (6) サンプル数の少ない属性の分析については、グラフ上で数値が高いものでも有意差がなく、分析で触れていない場合がある。

7. 調査結果

(1) 障害の区分

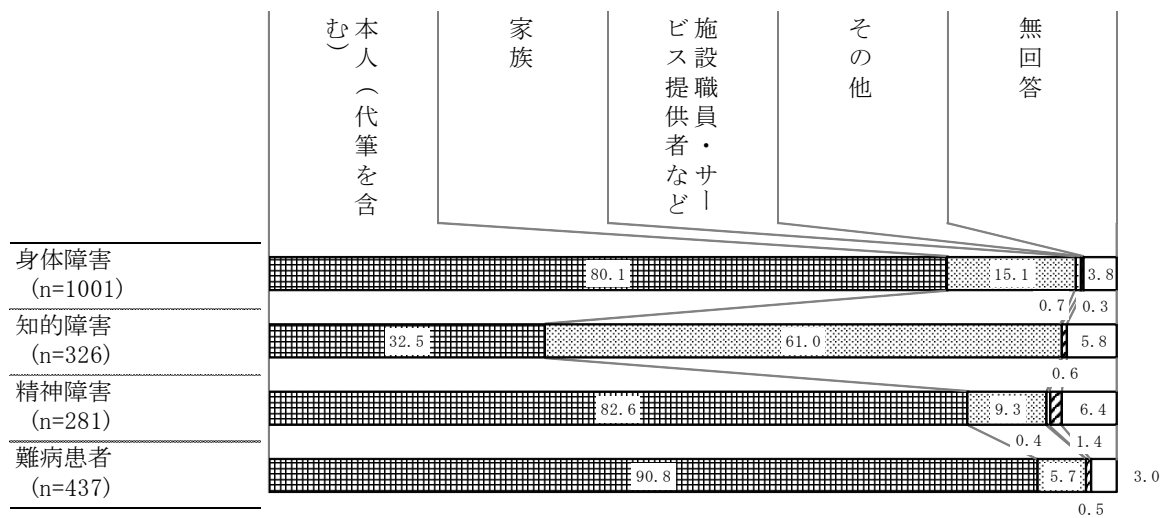
配布した障害区分ごとの有効回答数は身体障害者が 1,001、知的障害が 326、精神障害が 281、難病患者が 437 となった。有効回答に記載された手帳の種類（問 4）の内訳では、身体障害者手帳が 989、愛の手帳が 322、精神保健福祉手帳が 241、都医療券（難病医療費助成）が 432 となった。前回調査と同様に、手帳を重複して所持している人がいるため、調査票を配布した障害区分を基準に集計した。

	身体障害者手帳	愛の手帳	精神障害者 保健福祉手帳	都医療券 (難病医療費助成)	合計(n数)
身体障害	962	5	4	14	1001
知的障害	6	313	1	3	326
精神障害	17	3	234	1	281
難病患者	4	1	2	414	437
合計	989	322	241	432	2045

(2) 基本属性

① 記入者

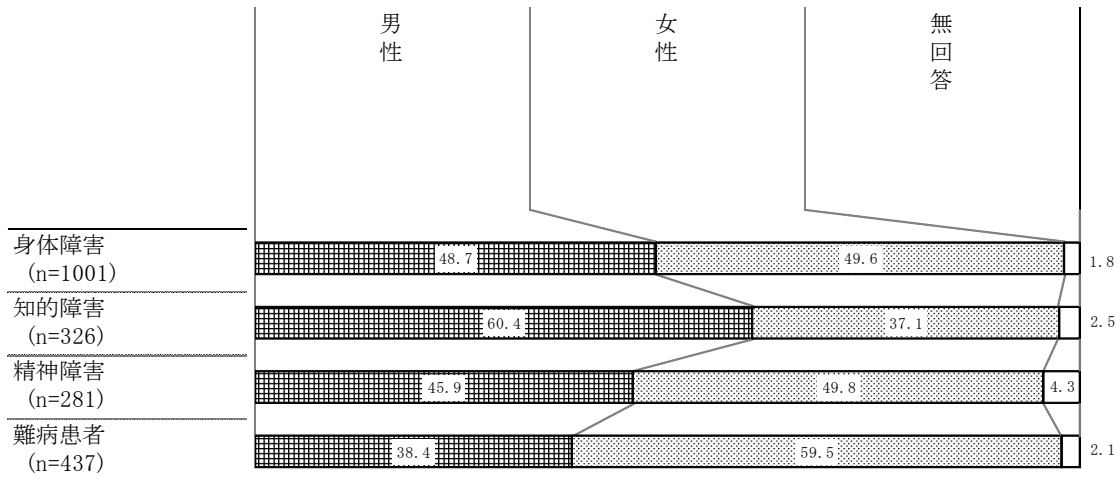
「本人（代筆を含む）」が身体障害 80.1%、精神障害が 82.6%、難病患者が 90.8%となっており、知的障害では「家族」による記入が 61.0%で最も多かった。



②性別・年齢

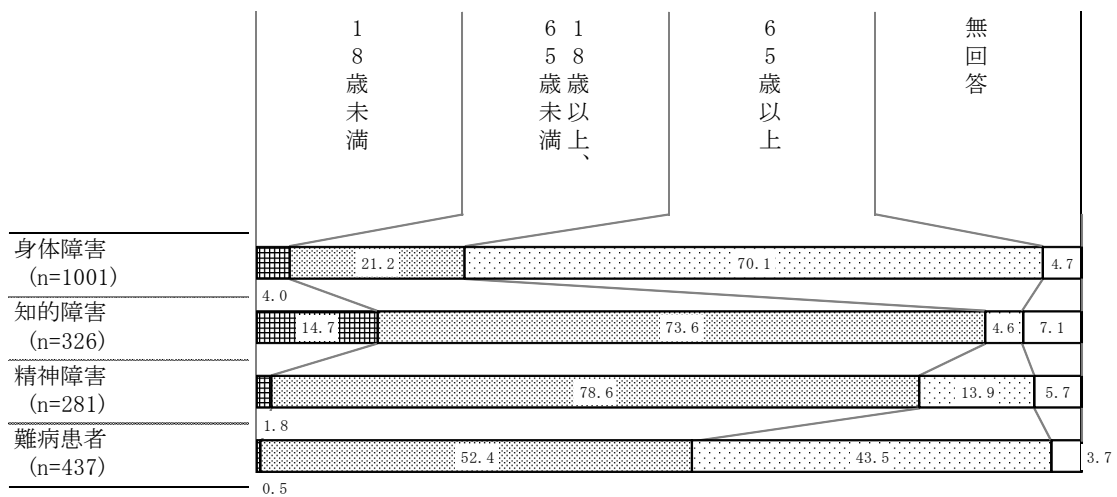
〔性別〕

身体障害は男性が 48.7%、女性が 49.6%。知的障害は男性が 60.4%、女性が 37.1%。精神障害は男性が 45.9%、女性が 49.8%。難病患者は男性が 38.4%、女性が 59.5%となっており、知的障害では男性が多く、難病患者では女性が多い結果となった。



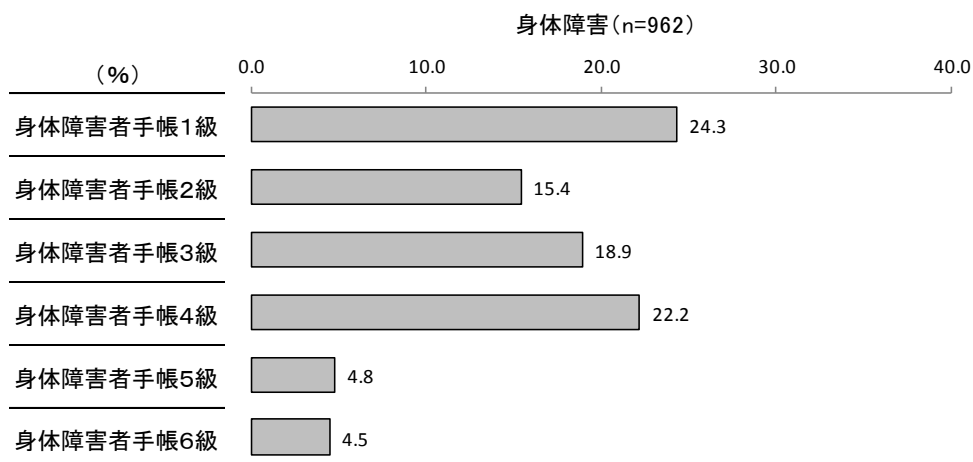
〔年齢〕

年齢については、身体障害が「65歳以上」が 70.1%で最も多く、「18歳以上、65歳未満」が 21.2%で続き、知的障害では「18歳以上、65歳未満」が 73.6%で最も多く、「18歳未満」が 14.7%で続いた。精神障害では「18歳以上、65歳未満」が 78.6%で最も多く、「65歳以上」が 13.9%で続き、難病患者では、「18歳以上、65歳未満」が 52.4%で最も多く、次いで「65歳以上」が 43.5%となった。



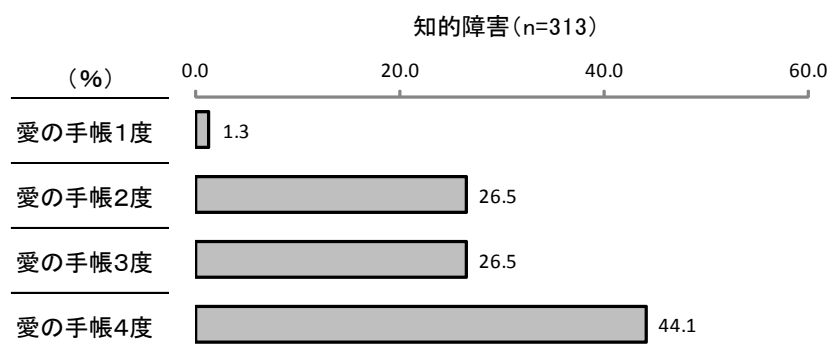
③手帳の所持状況

身体障害は身体障害者手帳「1級」が24.3%で最も多く、「4級」が22.2%が続いた。



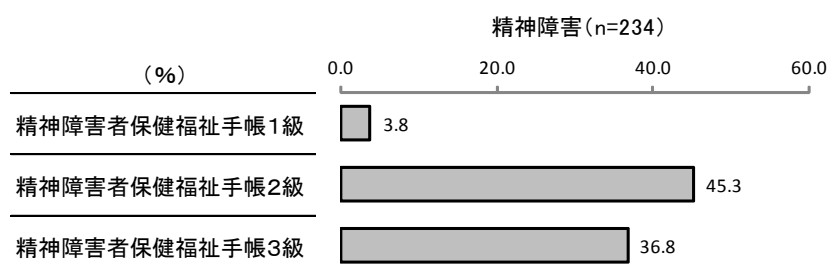
注：身体障害者の調査票を送付した方で、身体障害者手帳を所有していると回答された方のみで集計

知的障害は愛の手帳「4度」が44.1%で最も多く、「2度」と「3度」は26.5%が続いた。



注：知的障害者の調査票を送付した方で、愛の手帳を所有していると回答された方のみで集計

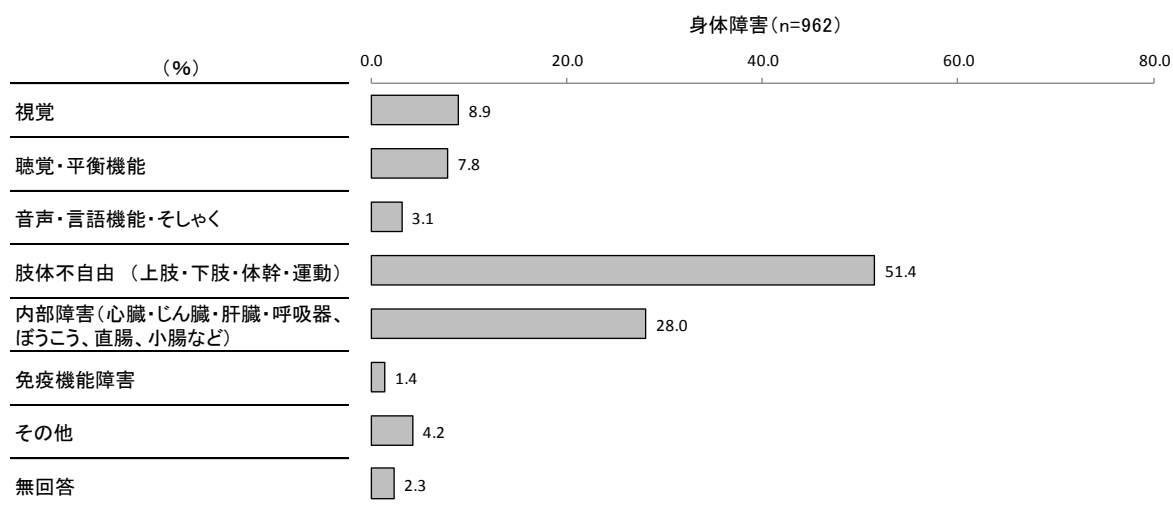
精神障害は精神障害者福祉手帳「2級」が45.3%で最も多く、「3級」が36.8%が続いた。



注：精神障害者の調査票を送付した方で、精神障害者福祉手帳を所有していると回答された方のみで集計

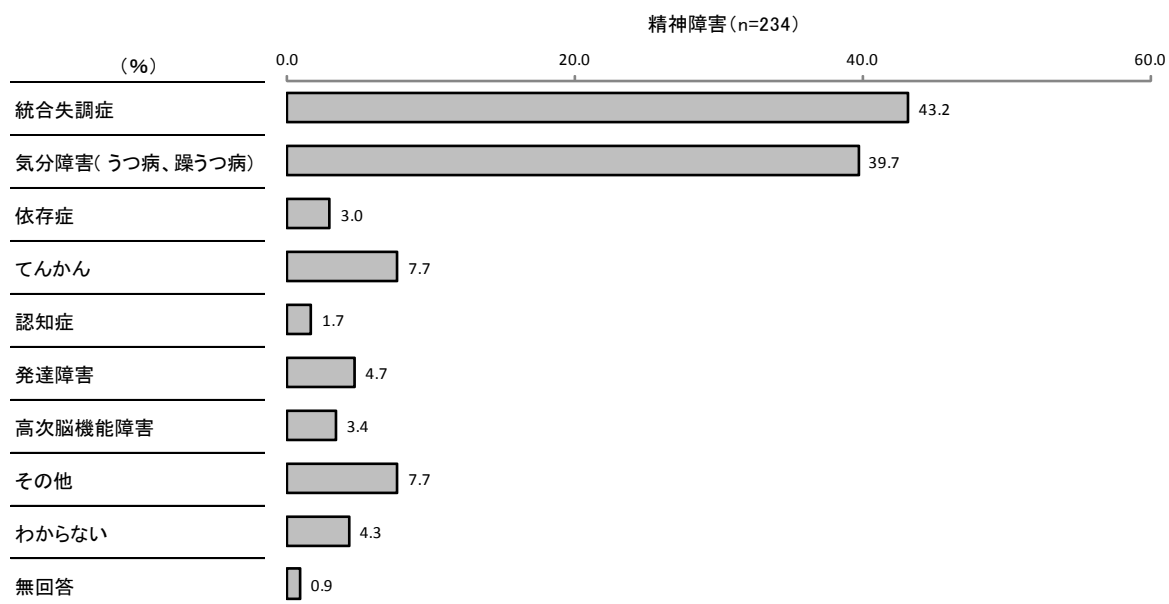
④手帳の詳細

身体障害者手帳については、「肢体不自由（上肢・下肢・体幹・運動）」が51.4%で最も多く、「内部障害（心臓・じん臓・肝臓・呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸など）」が28.0%で続いた。



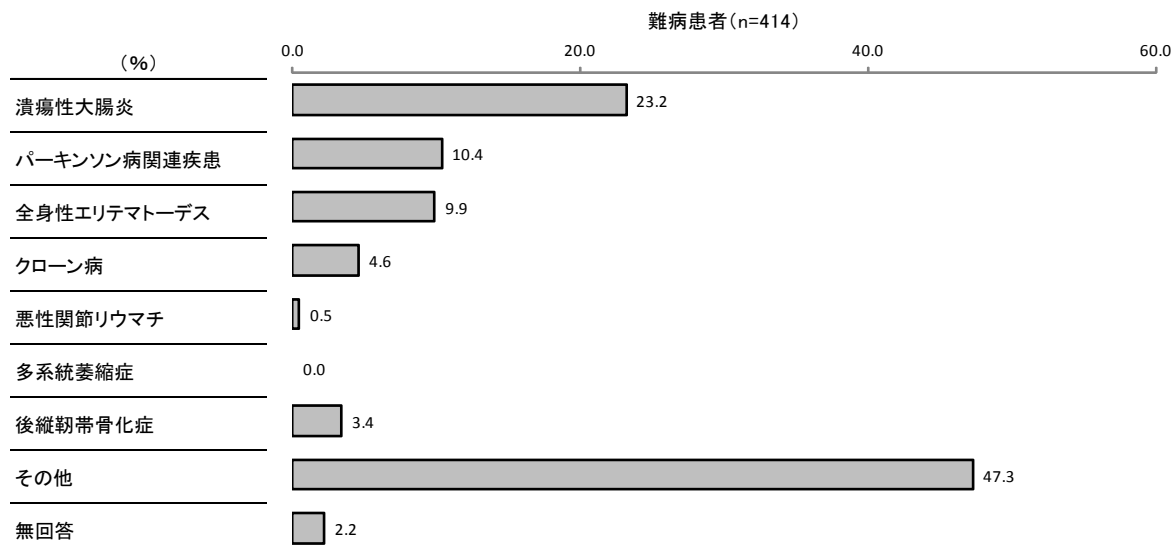
注：身体障害者の調査票を送付した方で、身体障害者手帳を所有していると回答された方のみで集計

精神障害者福祉手帳については、「統合失調症」が43.2%で最も多く、「気分障害（うつ病、躁うつ病）」が39.7%で続いた。



注：精神障害者の調査票を送付した方で、精神障害者福祉手帳を所有していると回答された方のみで集計

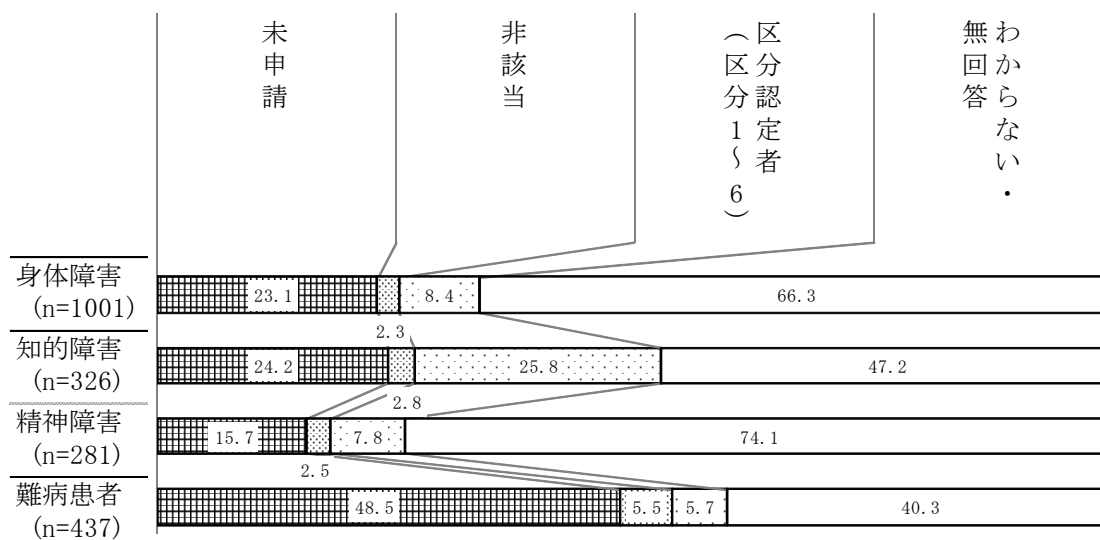
都・医療券（難病医療費助成）については、「その他」が 47.3%で最も多く、「潰瘍性大腸炎」が 23.2%で続いた。



注：難病患者の調査票を送付した方で、都・医療券（難病医療費助成）を所有していると回答された方のみで集計

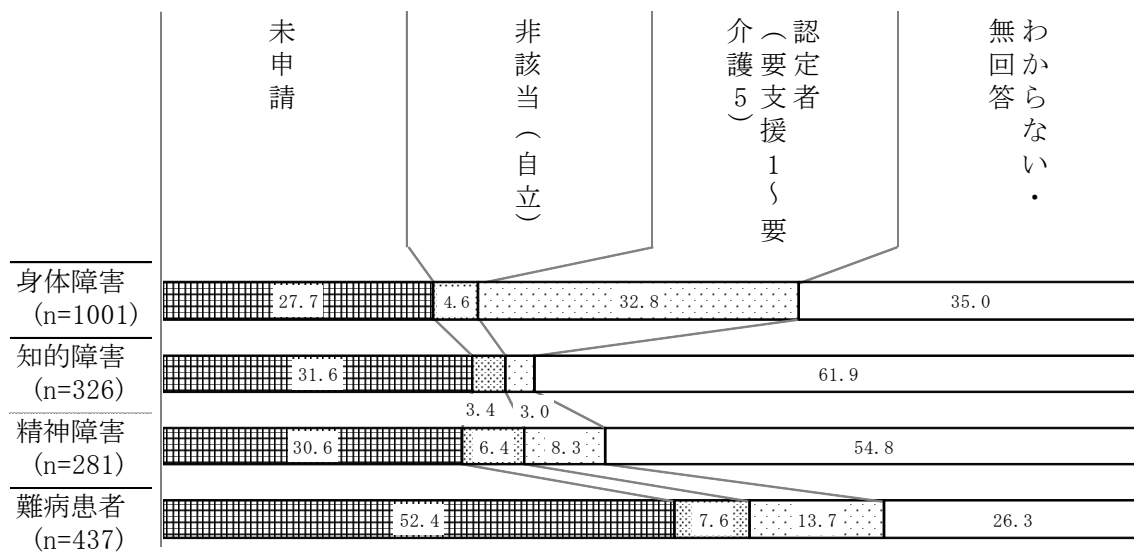
⑤障害程度区分について

障害程度区分については、身体障害が「わからない・無回答」が 66.3%で最も多く、「未申請」が 23.1%で続き、知的障害では「わからない・無回答」が 47.2%で最も多く、「区分認定者」が 25.8%で続いた。精神障害では「わからない・無回答」が 74.1%で最も多く、「未申請」が 15.7%で続き、難病患者では、「未申請」が 48.5%で最も多く、次いで「わからない・無回答」が 40.3%となった。



⑥介護保険制度の要支援・要介護認定について

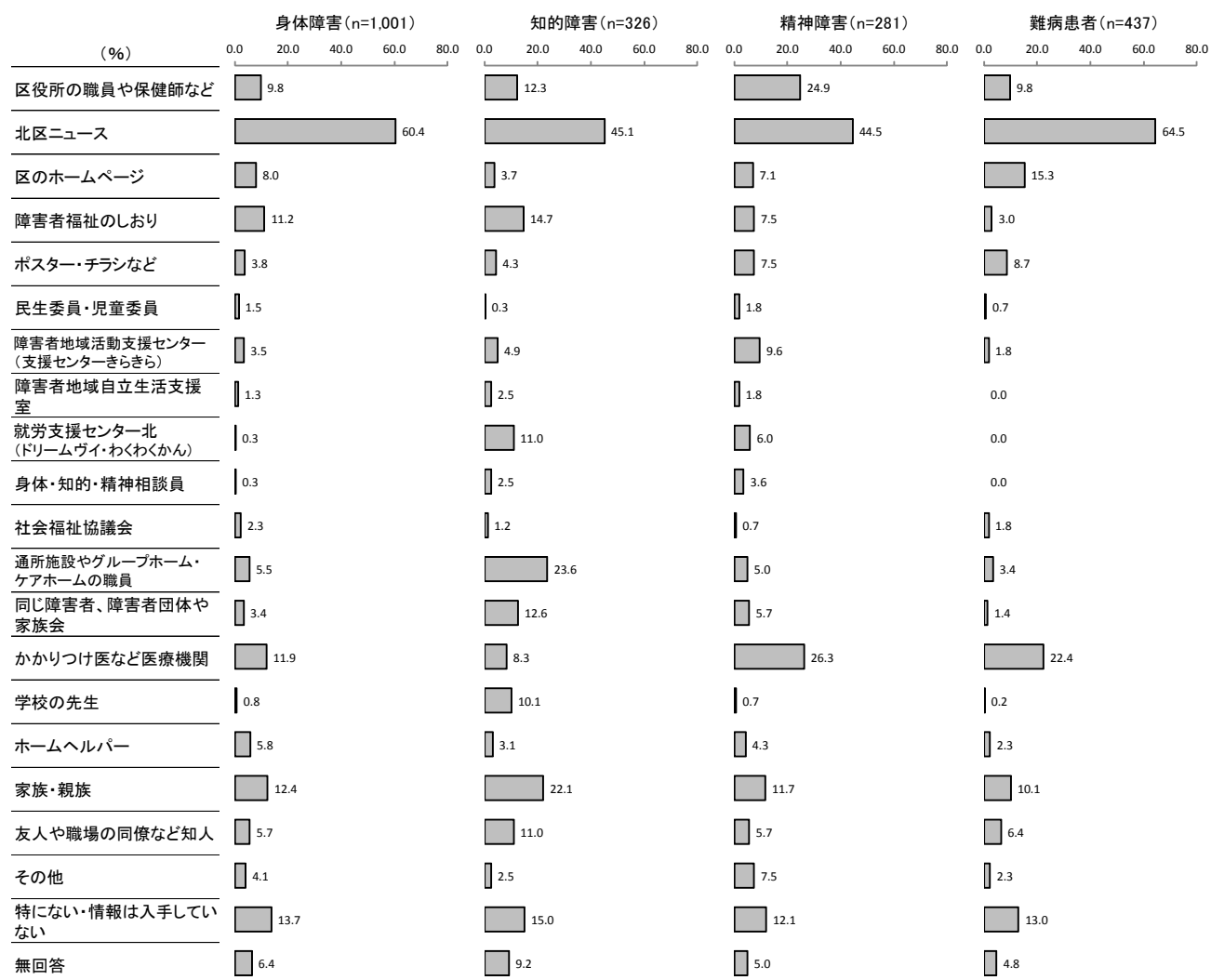
介護保険制度の要支援・要介護認定については、身体障害が「わからない・無回答」が35.0%で最も多く、「認定者」が32.8%で続き、知的障害では「わからない・無回答」が61.9%で最も多く、「未申請」が31.6%で続いた。精神障害では「わからない・無回答」が54.8%で最も多く、「未申請」が30.6%で続き、難病患者では、「未申請」が52.4%で最も多く、次いで「わからない・無回答」が26.3%となった。



(3) 情報や相談について

①北区の福祉サービスの情報をどこから知りましたか（あてはまる番号すべて）

身体障害では、「北区ニュース」が60.4%で最も多く、次に「特にない・情報は入手していない」が13.7%となっており、「家族・親族」、「かかりつけ医など医療機関」、「障害者福祉のしおり」が続いた。知的障害では、「北区ニュース」が45.1%で最も多く、「通所施設やグループホーム・ケアホームの職員」が23.6%、「家族・親族」が22.1%で続いた。精神障害では、「北区ニュース」が44.5%で最も多く、「かかりつけ医など医療機関」が26.3%、「区役所の職員や保健師など」が24.9%で続いた。難病患者では、「北区ニュース」が64.5%で最も多く、次に「かかりつけ医など医療機関」が22.4%となっており、「区のホームページ」、「特にない・情報は入手していない」、「家族・親族」が続いた。



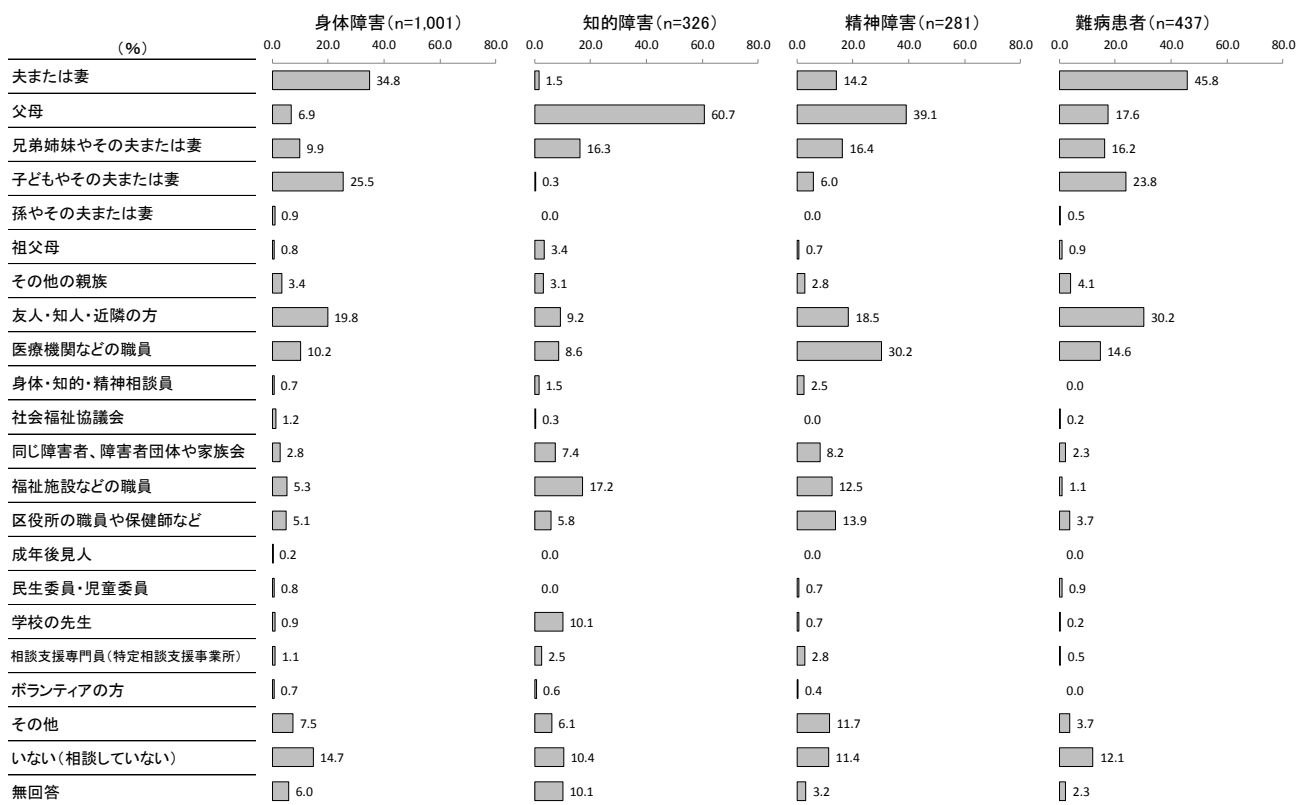
〔前回調査との比較〕

前回調査では、「北区ニュース」が身体障害および知的障害で1位、精神障害が2位となっていたが、今回はいずれの障害区分においても「北区ニュース」が1位となっており、比率も前回調査より増加となった。一方、「区役所の職員や保健師など」は、精神障害をのぞいて、前回調査と比べて5%強の減少となった。

選択肢	身体障害				知的障害				精神障害			
	平成20年度 (%)	平成23年度 (%)	平成25年度 (%)	変化	平成20年度 (%)	平成23年度 (%)	平成25年度 (%)	変化	平成20年度 (%)	平成23年度 (%)	平成25年度 (%)	変化
北区ニュース	56.6	33.5	60.4	△	53.0	33.7	45.1	△	40.4	17.5	44.5	△
区役所の職員や保健師など (区役所の窓口)	22.8	16.4	9.8	▼	26.2	17.7	12.3	▼	20.8	29.5	24.9	
障害者福祉のしおり	13.3	10.6	11.2		18.7	15.5	14.7		5.4	5.1	7.5	
障害者地域活動支援センター (支援センターきらきら)	0.9	1.4	3.5		1.6	3.1	4.9		7.5	6.3	9.6	
就労支援センター北 (ドリームヴィ・わくわくかん)	0.0	0.2	0.3		6.6	8.1	11.0		3.5	4.3	6.0	

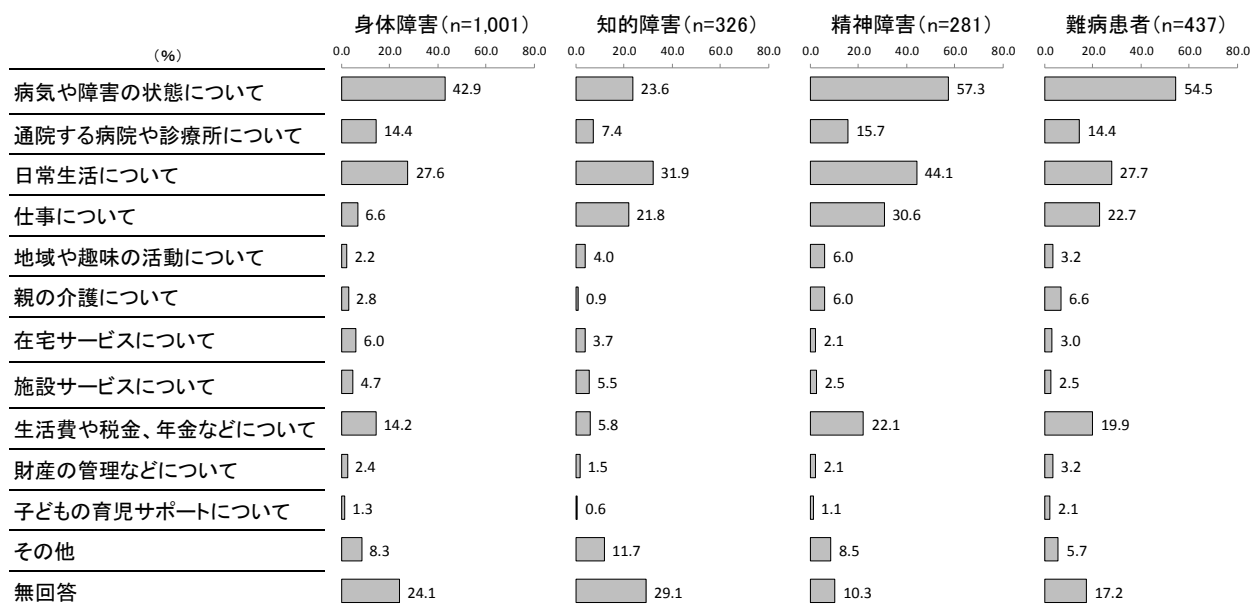
②悩みごとや困ったことなどについて、誰（どこ）に相談していますか（あてはまる番号すべて）

身体障害では、「夫または妻」が34.8%で最も多く、「子どもやその夫または妻」が25.5%、「友人・知人・近隣の方」が19.8%で続いた。知的障害では、「父母」が60.7%で最も多く、「福祉施設などの職員」が17.2%、「兄弟姉妹やその夫または妻」が16.3%で続いた。精神障害では、「父母」が39.1%で最も多く、「医療機関などの職員」が30.2%、「友人・知人・近隣の方」が18.5%で続いた。難病患者では、「夫または妻」が45.8%で最も多く、「友人・知人・近隣の方」が30.2%、「子どもやその夫または妻」が23.8%で続いた。



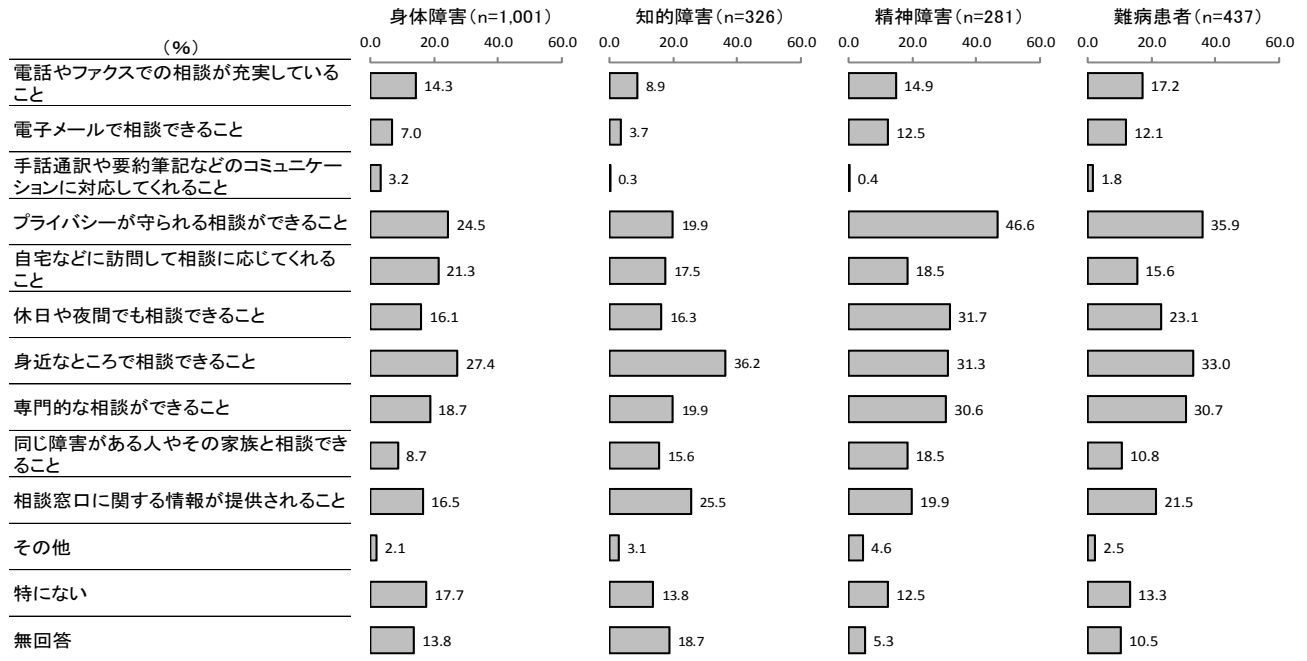
③どんな悩みごとや困ったことを相談していますか（あてはまる番号すべて）

身体障害では、「病気や障害の状態について」が42.9%で最も多く、「日常生活について」が27.6%で続いた。知的障害では、「日常生活について」が31.9%で最も多く、「病気や障害の状態について」が23.6%で続いた。精神障害では、「病気や障害の状態について」が57.3%で最も多く、「日常生活について」が44.1%で続いた。難病患者では、「病気や障害の状態について」が54.5%で最も多く、「日常生活について」が27.7%で続いた。



④相談しやすい体制をつくるにはどのようなことが必要だと思いますか。(あてはまる番号すべて)

身体障害では、「身近なところで相談できること」が27.4%で最も多く、「プライバシーが守られる相談ができること」が24.5%で続いた。知的障害では、「身近なところで相談できること」が36.2%で最も多く、「相談窓口に関する情報が提供されること」が25.5%で続いた。精神障害では、「プライバシーが守られる相談ができること」が46.6%で最も多く、「休日や夜間でも相談できること」が31.7%で続いた。難病患者では、「プライバシーが守られる相談ができること」が35.9%で最も多く、「身近なところで相談できること」が33.0%で続いた。



【前回調査との比較】

前回調査に比べて、身体障害では、「身近なところで相談できること」や「専門的な相談ができること」をはじめ、広範な項目で増加した。精神障害では、「プライバシーが守られる相談ができること」や「身近なところで相談できること」、「休日や夜間でも相談できること」など、広範な項目で増加した。一方、知的障害では「相談窓口に関する情報が提供されること」が増加したが、その他の項目では変化は見られなかった。

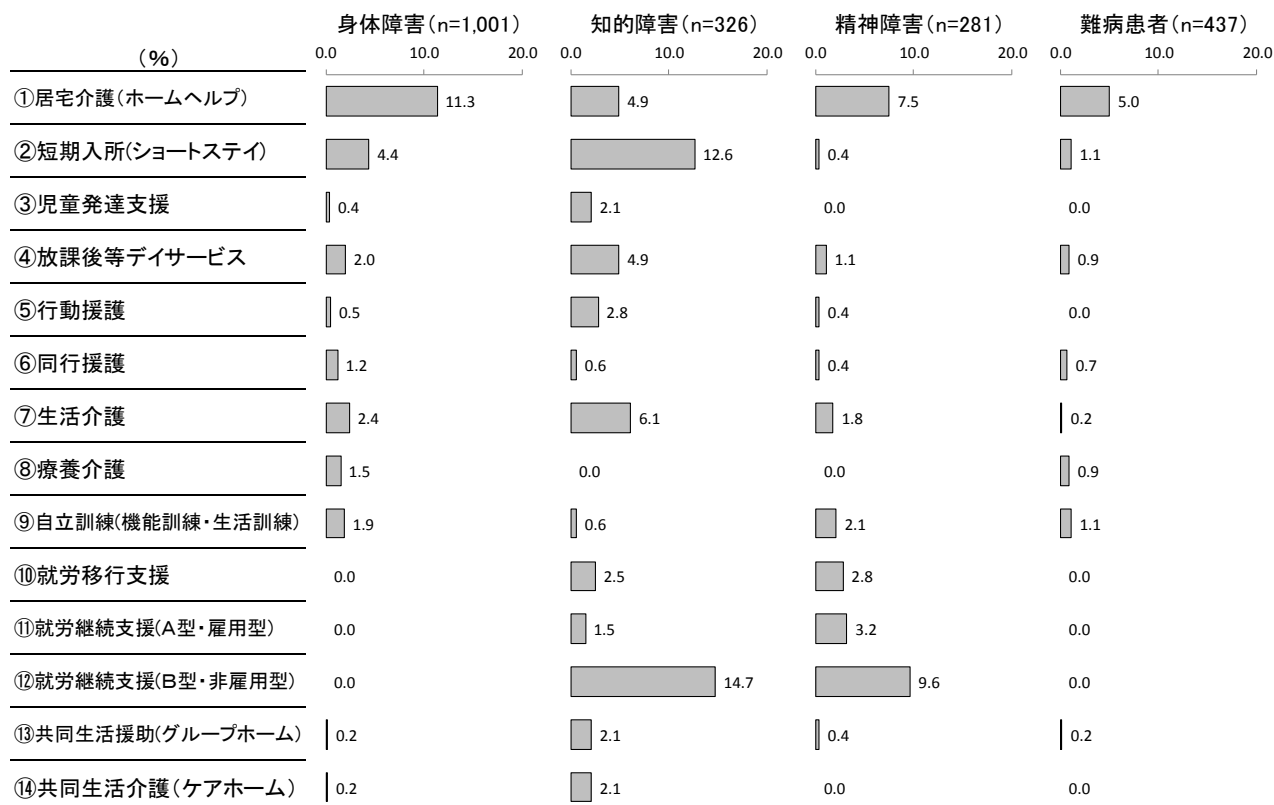
選択肢	身体障害				知的障害				精神障害			
	平成20年度 (%)	平成23年度 (%)	平成25年度 (%)	変化	平成20年度 (%)	平成23年度 (%)	平成25年度 (%)	変化	平成20年度 (%)	平成23年度 (%)	平成25年度 (%)	変化
身近なところで相談できること	29.6	18.2	27.4	△	45.2	32.2	36.2		26.2	25.4	31.7	△
プライバシーが守られる相談ができること	22.3	21.4	24.5		21.0	24.1	19.9		34.6	41.3	46.6	△
専門的な相談ができること	19.3	12.7	18.7	△	28.8	20.8	19.9		26.5	17.1	30.6	△
自宅などに訪問して相談に応じてくれること	19.1	19.3	21.3		14.8	14.4	17.5		17.3	16.9	18.5	
電話やファクスでの相談が充実していること	19.7	15.6	14.3		12.3	12.5	8.9		19.2	16.5	14.9	
休日や夜間でも相談できること	14.4	10.7	16.1	△	13.5	14.2	16.3		21.5	18.5	31.7	△
相談窓口に関する情報が提供されること	17.0	11.4	16.5	△	26.7	18.2	25.5	△	13.8	11.0	19.9	△
同じ障害がある人やその家族と相談できること	8.0	4.2	8.7		22.8	14.9	15.6		13.5	9.8	18.5	△

(4) サービスについて

①障害福祉サービスごとに利用状況と満足度を教えてください

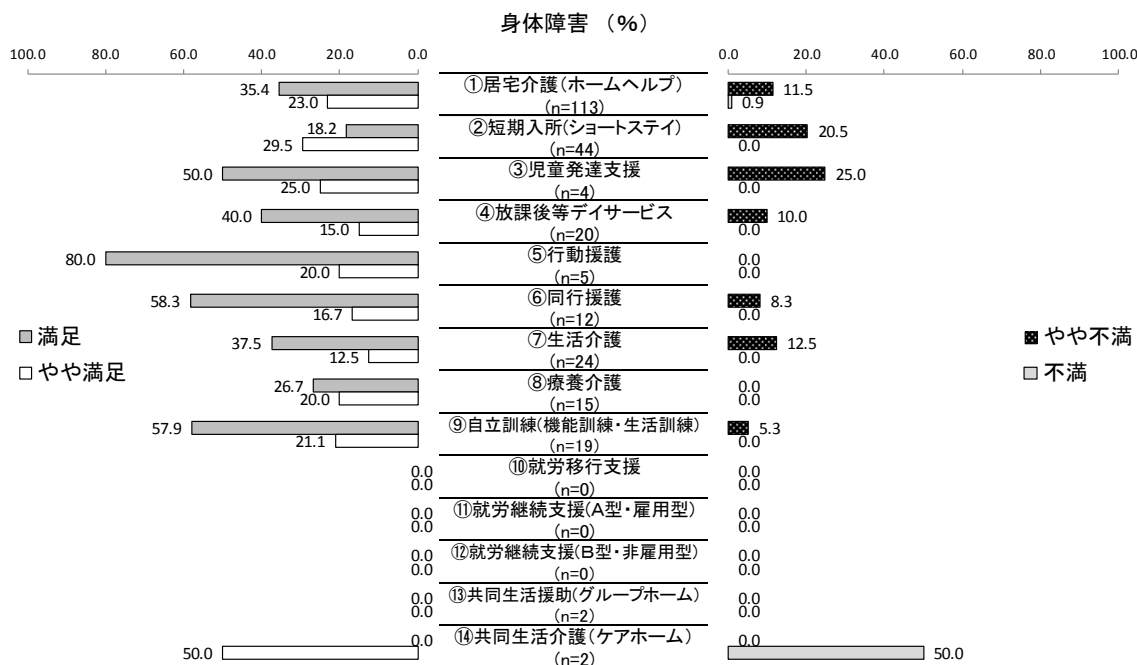
[利用状況]

身体障害では、「居宅介護（ホームヘルプ）」が 11.3%で最も多く、「短期入所（ショートステイ）」が 4.4%で続いた。知的障害では、「就労継続支援B型」が 14.7%で最も多く、「短期入所（ショートステイ）」が 12.6%で続いた。精神障害では、「就労継続支援B型」が 9.6%で最も多く、「居宅介護（ホームヘルプ）」が 7.5%で続いた。難病患者では、「居宅介護（ホームヘルプ）」が 5.0%で最も多く、「短期入所（ショートステイ）」と「自立訓練（機能訓練・生活訓練）」が 1.1%で続いた。

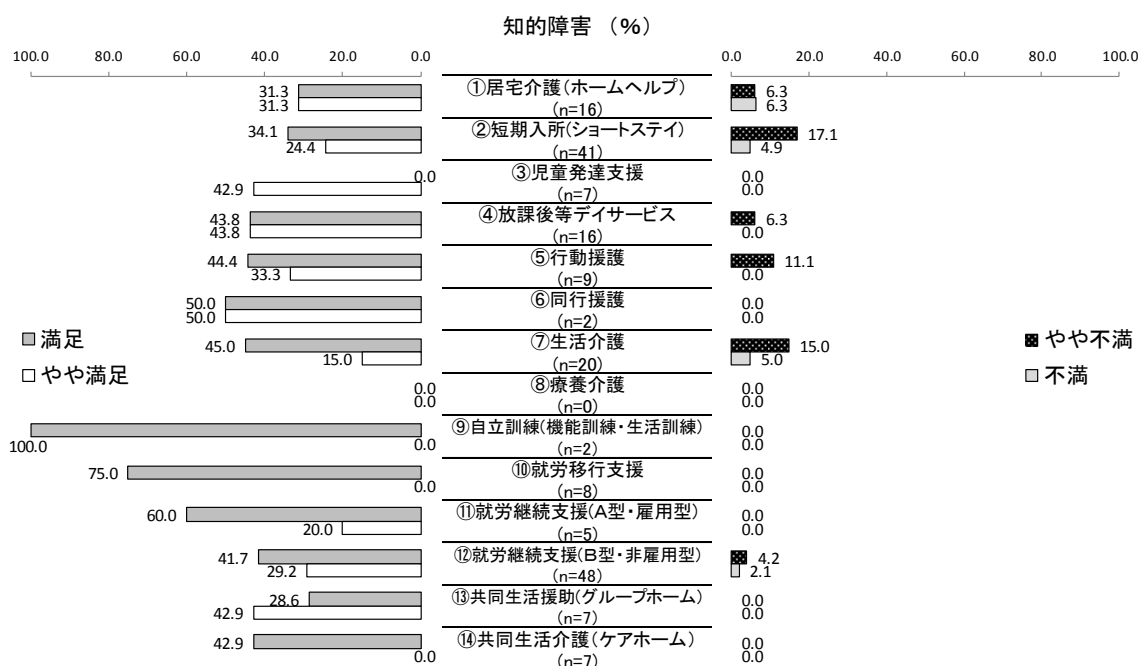


[満足度]

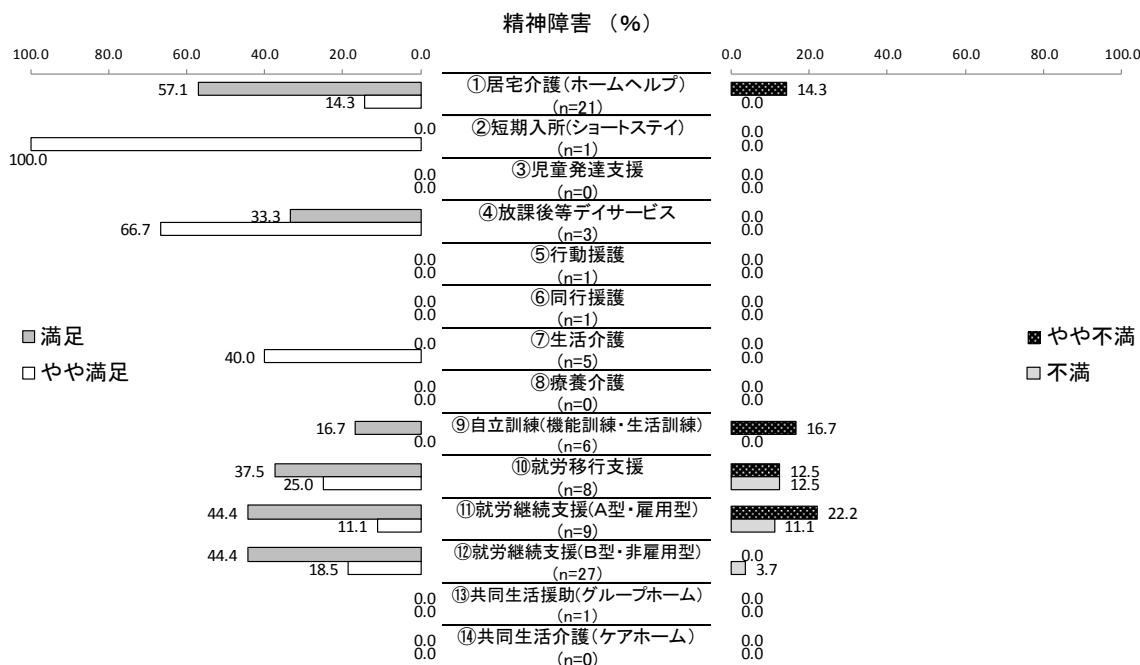
身体障害では、「居宅介護（ホームヘルプ）」、「短期入所（ショートステイ）」、「生活介護」などに「満足」と「やや満足」を足した《満足》が多い一方で、「やや不満」と「不満」を足した《不満足》も見受けられる。



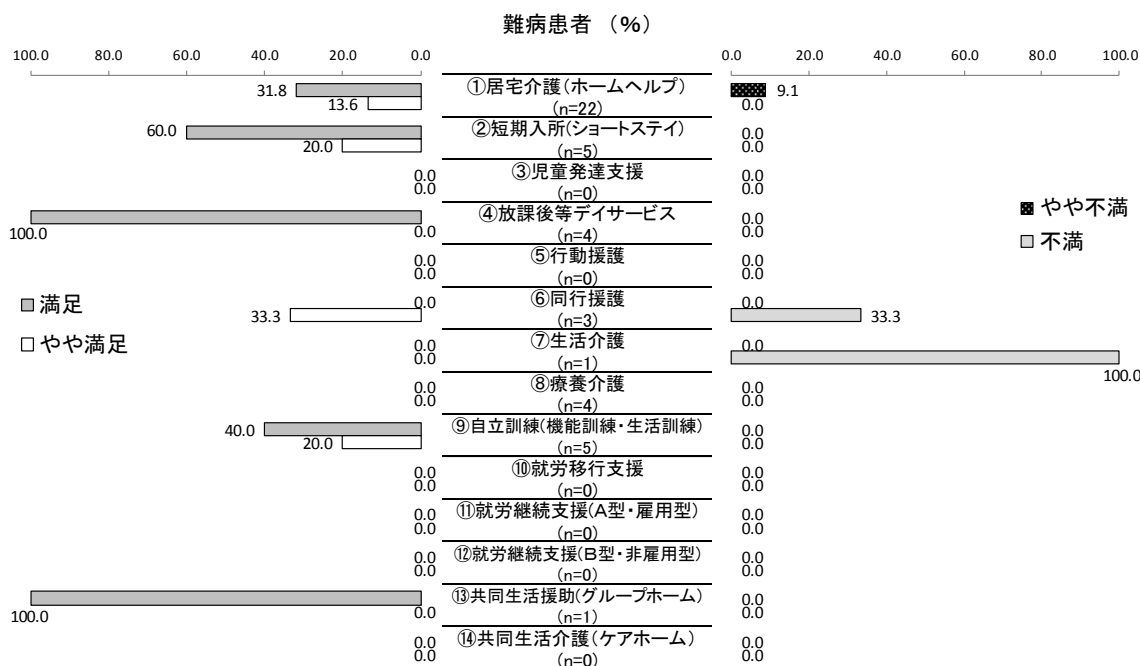
知的障害では、「居宅介護（ホームヘルプ）」、「短期入所（ショートステイ）」、「生活介護」で「満足」と「やや満足」を足した《満足》が6割前後が多い一方で、「やや不満」と「不満」を足した《不満足》も2割ほど見受けられる。「放課後等デイサービス」と「就労継続支援B型」は《満足》が8割と7割を超え、《不満足》は1割未満となった。



精神障害では、「居宅介護（ホームヘルプ）」で「満足」と「やや満足」を足した《満足》が7割を超え、「やや不満」と「不満」を足した《不満足》は14.3%となった。「就労継続支援B型」は《満足》が62.9%となり、《不満足》はわずか3.7%にとどまった。



難病患者では、「居宅介護（ホームヘルプ）」で「満足」と「やや満足」を足した《満足》が45.4%となり、「やや不満」と「不満」を足した《不満足》は9.1%となった。



[不満足]

障害福祉サービスの不満足については、回答者が非常に少ないため参考として記載する。

身体障害

身体障害(%)	回数や時間が足りない	利用の日時があわない	サービス内容の質が良くない	事業所を選べない	事業者と家族との連携がとれていない	サービス提供者から心を傷つけられることがある	サービス提供者の対応が良くない	その他	無回答
①居宅介護(ホームヘルプ)(n=14)	64.3	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	35.7
②短期入所(ショートステイ)(n=10)	80.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0
③児童発達支援(n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
④放課後等デイサービス(n=2)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
⑤行動援護(n=3)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
⑥同行援護(n=3)	100.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
⑦生活介護(n=3)	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
⑧療養介護(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑨自立訓練(機能訓練・生活訓練)(n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
⑩就労移行支援(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑪就労継続支援(A型・雇成型)(n=1)	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
⑫就労継続支援(B型・非雇成型)(n=1)	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
⑬共同生活援助(グループホーム)(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑭共同生活介護(ケアホーム)(n=1)	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

知的障害

知的障害(%)	回数や時間が足りない	利用の日時があわない	サービス内容の質が良くない	事業所を選べない	事業者と家族との連携がとれていない	サービス提供者から心を傷つけられることがある	サービス提供者の対応が良くない	その他	無回答
①居宅介護(ホームヘルプ)(n=2)	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
②短期入所(ショートステイ)(n=9)	88.9	55.6	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1
③児童発達支援(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
④放課後等デイサービス(n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
⑤行動援護(n=2)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
⑥同行援護(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑦生活介護(n=4)	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
⑧療養介護(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑨自立訓練(機能訓練・生活訓練)(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑩就労移行支援(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑪就労継続支援(A型・雇成型)(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑫就労継続支援(B型・非雇成型)(n=5)	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0
⑬共同生活援助(グループホーム)(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑭共同生活介護(ケアホーム)(n=1)	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

精神障害

精神障害 (%)	回数や時間が足りない	利用の日時があわない	サービス内容の質がよくない	事業所を選べない	事業者と家族との連携がとれていない	サービス提供者から心を傷つけられることがある	サービス提供者の対応がよくない	その他	無回答
① 居宅介護(ホームヘルプ)(n=3)	100.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
② 短期入所(ショートステイ)(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
③ 児童発達支援(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
④ 放課後等デイサービス(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑤ 行動援護(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑥ 同行援護(n=1)	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
⑦ 生活介護(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑧ 療養介護(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑨ 自立訓練(機能訓練・生活訓練)(n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
⑩ 就労移行支援(n=3)	100.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
⑪ 就労継続支援(A型・雇成型)(n=5)	80.0	60.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0
⑫ 就労継続支援(B型・非雇成型)(n=2)	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
⑬ 共同生活援助(グループホーム)(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑭ 共同生活介護(ケアホーム)(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-

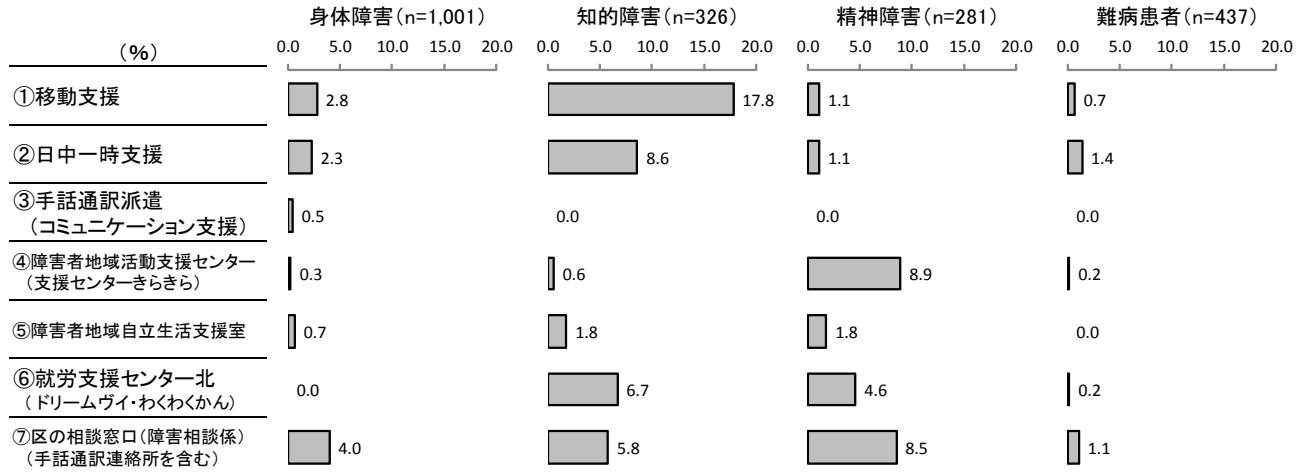
難病患者

難病患者 (%)	回数や時間が足りない	利用の日時があわない	サービス内容の質がよくない	事業所を選べない	事業者と家族との連携がとれていない	サービス提供者から心を傷つけられることがある	サービス提供者の対応がよくない	その他	無回答
① 居宅介護(ホームヘルプ)(n=2)	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
② 短期入所(ショートステイ)(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
③ 児童発達支援(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
④ 放課後等デイサービス(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑤ 行動援護(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑥ 同行援護(n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
⑦ 生活介護(n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
⑧ 療養介護(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑨ 自立訓練(機能訓練・生活訓練)(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑩ 就労移行支援(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑪ 就労継続支援(A型・雇成型)(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑫ 就労継続支援(B型・非雇成型)(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑬ 共同生活援助(グループホーム)(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑭ 共同生活介護(ケアホーム)(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-

②北区地域生活支援事業や相談の利用状況と満足度を教えてください

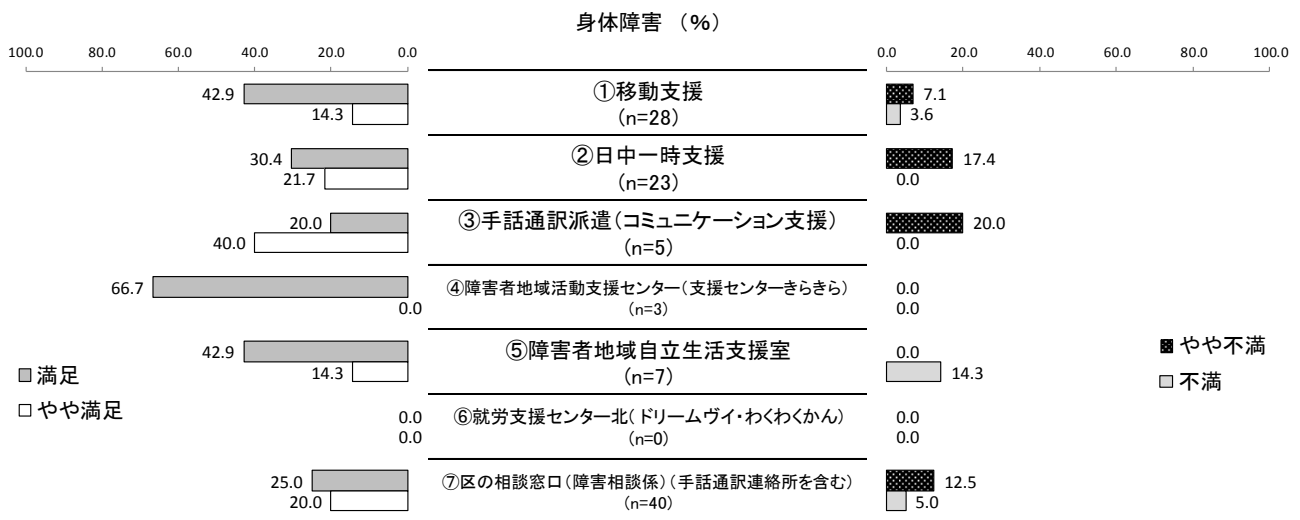
[利用状況]

身体障害では「区の相談窓口」が 4.0%で最も多く、「移動支援」が 2.8%でこれに次いだ。知的障害では「移動支援」が 17.8%で最も多く、「日中一時支援」が 8.6%でこれに次いだ。精神障害では「障害者地域活動支援センター」が 8.9%で最も多く、「区の相談窓口」が 8.5%でこれに次いだ。難病患者では「日中一時支援」が 1.4%で最も多く、「区の相談窓口」が 1.1%でこれに次いだ。

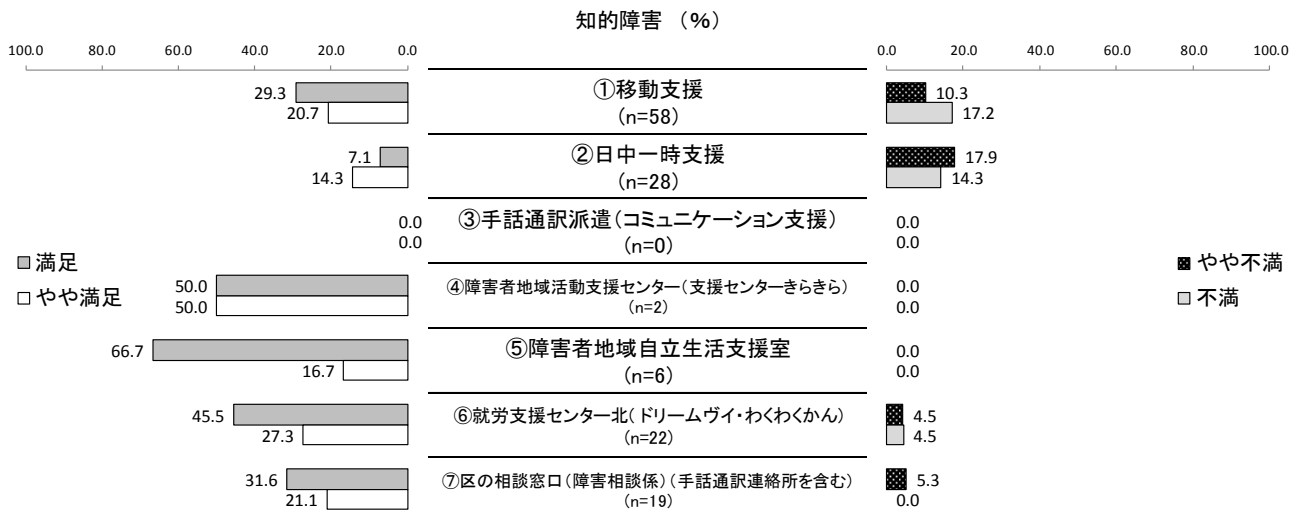


[満足度]

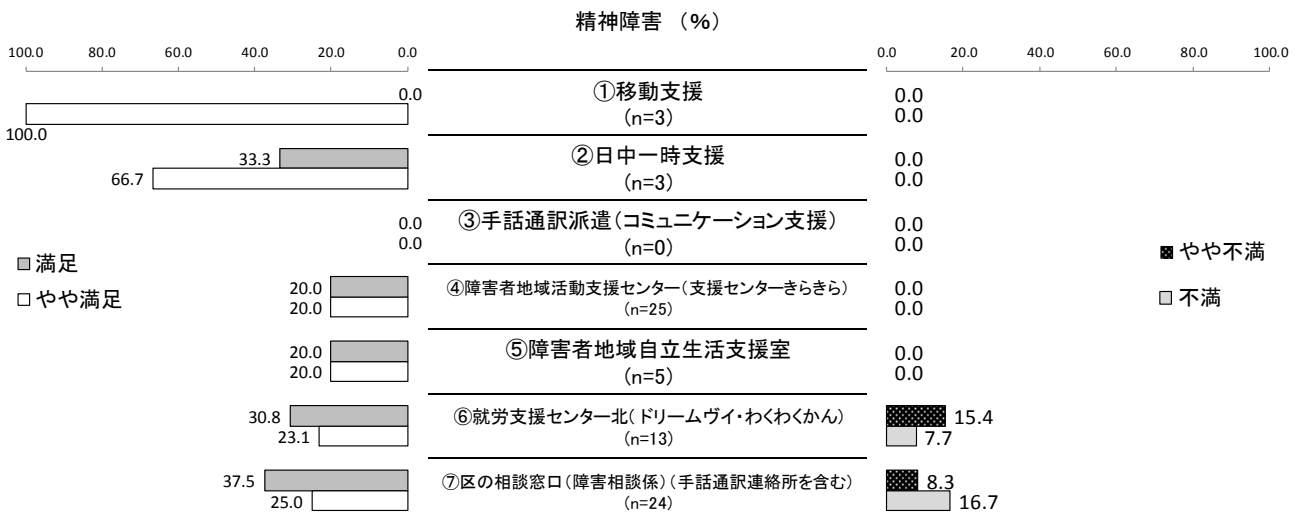
身体障害では、「移動支援」と「日中一時支援」と「区の相談窓口」で「満足」と「やや満足」を足した《満足》が 57.2%と 52.1%と 45.0%となり、「やや不満」と「不満」を足した《不満足》はいずれも 10%台となった。



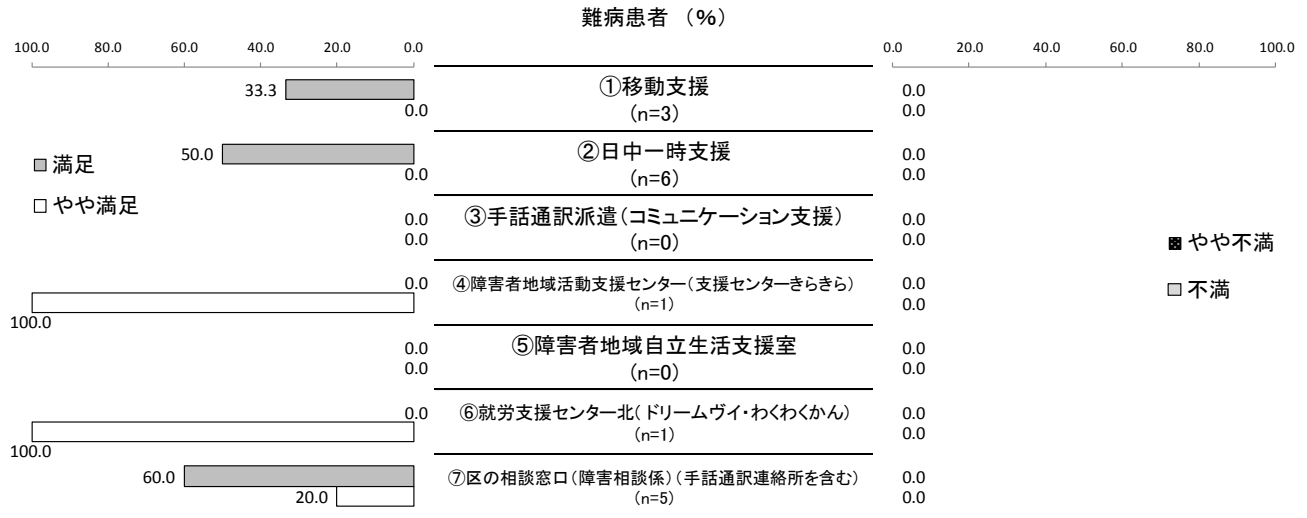
知的障害では、「移動支援」と「日中一時支援」と「就労支援センター北」で「満足」と「やや満足」を足した《満足》が50.0%と21.4%と72.8%となり、「やや不満」と「不満」を足した《不満足》は27.5%と32.2%と9.0%となった。「日中一時支援」では《不満足》が《満足》を10.8ポイント上まわった。



精神障害では、「障害者地域活動支援センター」と「区の相談窓口」と「就労支援センター北」で「満足」と「やや満足」を足した《満足》が40.0%と62.5%と53.9%となり、「やや不満」と「不満」を足した《不満足》は0.0%と25.0%と23.1%となった。



難病患者では有効回答が僅少となったが、「区の相談窓口」と「日中一時支援」で「満足」と「やや満足」を足した《満足》が80.0%と50.0%となり、「やや不満」と「不満」を足した《不満足》はなかった。



[不満点]

障害福祉サービスの不満点については、回答者が非常に少ないため参考として記載する。

身体障害

身体障害 (%)	回数や時間が足りない	利用の日時があわない	サービス内容の質がよくない	事業所を選べない	事業者と家族との連携がとれていない	サービス提供者から心を傷つけられることがある	サービス提供者の対応がよくない	その他	無回答
①移動支援(n=5)	100.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
②日中一時支援(n=4)	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
③手話通訳派遣(コミュニケーション支援)(n=3)	100.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
④障害者地域活動支援センター(支援センターきらきら)(n=1)	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
⑤障害者地域自立生活支援室(n=1)	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
⑥就労支援センター北(ドリームヴィ・わくわくかん)(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑦区の相談窓口(障害相談係)(手話通訳連絡所を含む)(n=10)	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

知的障害

知的障害 (%)	回数や時間が足りない	利用の日時があわない	サービス内容の質がよくない	事業所を選べない	事業者と家族との連携がとれていない	サービス提供者から心を傷つけられることがある	サービス提供者の対応がよくない	その他	無回答
①移動支援(n=16)	93.8	31.3	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
②日中一時支援(n=9)	88.9	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1
③手話通訳派遣 (コミュニケーション支援)(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
④障害者地域活動支援センター (支援センターきらきら)(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑤障害者地域自立生活支援室(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑥就労支援センター北 (ドリームヴィ・わくわくかん)(n=3)	66.7	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
⑦区の相談窓口(障害相談係) (手話通訳連絡所を含む)(n=2)	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

精神障害

精神障害 (%)	回数や時間が足りない	利用の日時があわない	サービス内容の質がよくない	事業所を選べない	事業者と家族との連携がとれていない	サービス提供者から心を傷つけられることがある	サービス提供者の対応がよくない	その他	無回答
①移動支援(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
②日中一時支援(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
③手話通訳派遣 (コミュニケーション支援)(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
④障害者地域活動支援センター (支援センターきらきら)(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑤障害者地域自立生活支援室(n=1)	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
⑥就労支援センター北 (ドリームヴィ・わくわくかん)(n=4)	100.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
⑦区の相談窓口(障害相談係) (手話通訳連絡所を含む)(n=7)	100.0	71.4	42.9	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0

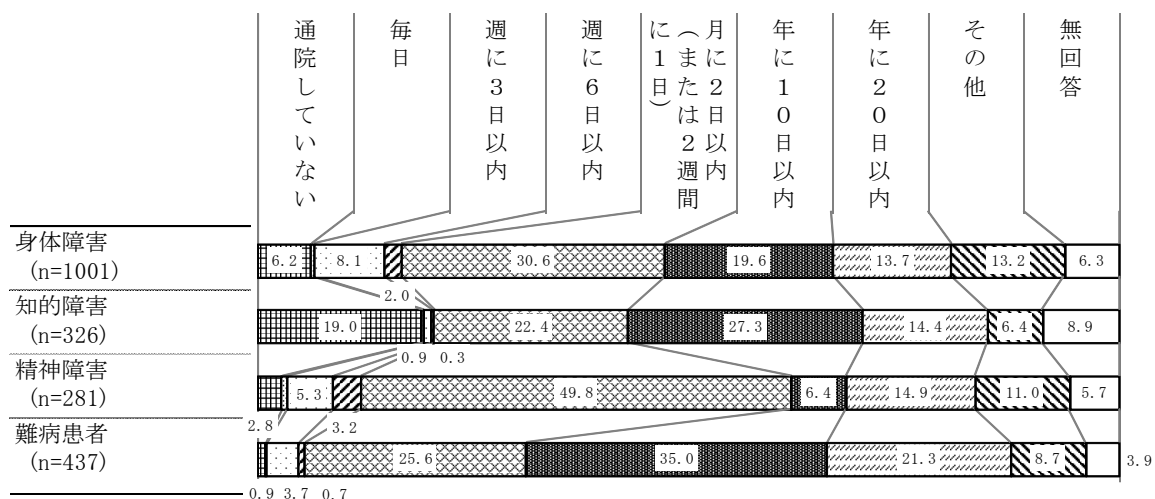
難病患者

難病患者 (%)	回数や時間が足りない	利用の日時があわない	サービス内容の質がよくない	事業所を選べない	事業者と家族との連携がとれていない	サービス提供者から心を傷つけられることがある	サービス提供者の対応がよくない	その他	無回答
①移動支援(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
②日中一時支援(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
③手話通訳派遣 (コミュニケーション支援)(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
④障害者地域活動支援センター (支援センターきらきら)(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑤障害者地域自立生活支援室(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑥就労支援センター北 (ドリームヴィ・わくわくかん)(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑦区の相談窓口(障害相談係) (手話通訳連絡所を含む)(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(5) 通院・入院状況について

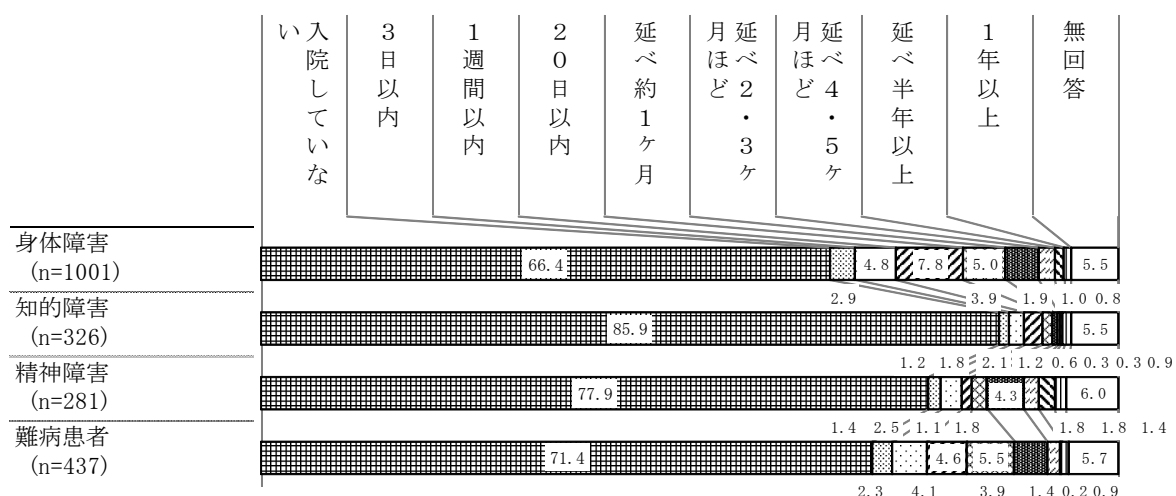
①最近1年間で、どれくらい通院しましたか（入院はのぞく）（あてはまる番号1つ）

身体障害では、「月に2日以内」が30.6%で最も多く、「年に10日以内」が19.6%が続いた。知的障害では、「年に10日以内」が27.3%で最も多く、「月に2日以内」が22.4%が続いた。精神障害では、「月に2日以内」が49.8%で最も多く、「年に20日以内」が14.9%が続いた。難病患者では、「年に10日以内」が35.0%で最も多く、「月に2日以内」が25.6%が続いた。



②最近1年間で、入院したことがありますか。またどれくらい入院しましたか（あてはまる番号1つ）

身体障害では、「入院していない」が66.4%で最も多く、「20日以内」が7.8%が続いた。知的障害では、「入院していない」が85.9%で最も多く、「20日以内」が2.1%が続いた。精神障害では、「入院していない」が77.9%で最も多く、「延べ2・3ヶ月ほど」が4.3%が続いた。難病患者では、「入院していない」が71.4%で最も多く、「延べ約1ヶ月」が5.5%が続いた。



(6) 生活する場所について

①現在、暮らしているところは次のどれですか（あてはまる番号1つ）

すべての障害区分で「持ち家（一戸建て・分譲・マンションなど）」が最も多く、身体障害と知的障害と難病患者で「公社・公団住宅・民間住宅・区営住宅」が続き、精神障害では「民間賃貸住宅」が続いた。

これらを集約すると、“地域で生活”が身体障害で94.2%、知的障害で91.4%、精神障害で91.5%、難病患者が96.3%となり、“施設・病院で生活”が身体障害で2.9%、知的障害で3.0%、精神障害で3.9%、難病患者が1.1%となった。

単位：%	地域で生活					計	施設・病院で生活		計	その他 無回答
	持ち家 (一戸建て・分譲 マンション など)	民間賃貸 住宅	公社・公 団住宅・ 民間住 宅・区営 住宅	社宅や会 社の寮、 官公舎	グループ ホーム・ケ アホーム		入所施設	病院		
身体障害(n=1,001)	53.9	12.2	26.5	1.1	0.5	94.2	2.0	0.9	2.9	2.9
知的障害(n=326)	53.1	7.4	24.8	1.2	4.9	91.4	2.1	0.9	3.0	5.5
精神障害(n=281)	41.6	25.6	23.5	0.4	0.4	91.5	1.4	2.5	3.9	4.6
難病患者(n=437)	57.4	17.2	19.9	1.8	0.0	96.3	0.0	1.1	1.1	2.5

※ 現状における“地域で生活”：

持ち家、民間賃貸住宅、公社・公営住宅・民間住宅・区営住宅、社宅や会社の寮、グループホーム・ケアホームの合計

現状における“施設・病院で生活”：

入所施設、病院の合計

②あなたはこれからどこで暮らしたいですか（あてはまる番号1つ）

すべての障害区分で「持ち家（一戸建て・分譲・マンションなど）」が最も多く、身体障害と精神障害と難病患者で「公社・公団住宅・民間住宅・区営住宅」が続き、知的障害では「グループホーム・ケアホーム」が続いた。

これらを集約すると、“地域で生活”が身体障害で82.0%、知的障害で73.3%、精神障害で82.5%、難病患者が87.2%となり、「入所施設」が身体障害で6.7%、知的障害で9.2%、精神障害で5.3%、難病患者が5.7%となった。

現在と将来（これから）を対比すると、すべての障害区分において、“地域で生活”は減少し、“施設・病院で生活（入所施設）”が増加した。

“地域で生活”に関して、身体障害では12.2ポイント、知的障害では18.1ポイント、精神障害では9.0ポイント、難病患者では9.1ポイント減少した。

“施設・病院で生活（入所施設）”に関して、身体障害では3.8ポイント、知的障害では6.2ポイント、精神障害では1.4ポイント、難病患者では4.6ポイント増加した。

単位：%	地域で生活				計	入所施設	その他 無回答
	持ち家 （一戸建 て・分譲 マンション など）	民間賃貸 住宅	公社・公 団住宅・ 都営住 宅・区営 住宅	グループ ホーム・ケ アホーム			
身体障害(n=1,001)	50.8	2.9	25.7	2.6	82.0	6.7	11.3
知的障害(n=326)	28.5	1.5	18.1	25.2	73.3	9.2	17.5
精神障害(n=281)	37.7	10.3	29.2	5.3	82.5	5.3	12.1
難病患者(n=437)	62.9	3.4	18.8	2.1	87.2	5.7	7.1

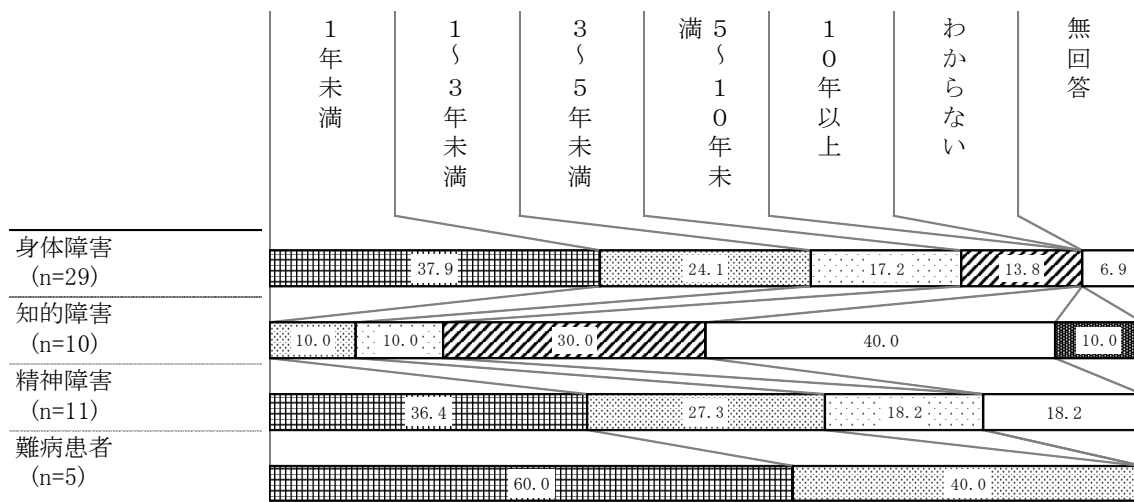
※ 将来における“地域で生活”：

持ち家、民間賃貸住宅、公社・公営住宅・民間住宅・区営住宅、グループホーム・ケアホームの合計

③今の施設・病院にどれくらいの期間いらっしゃいますか（あてはまる番号1つ）

身体障害では、「1年未満」が37.9%で最も多く、「1～3年未満」が24.1%、「3～5年未満」が17.2%で続いた。

知的障害、精神障害、難病患者については回答数が少ないため、参考として記載する。

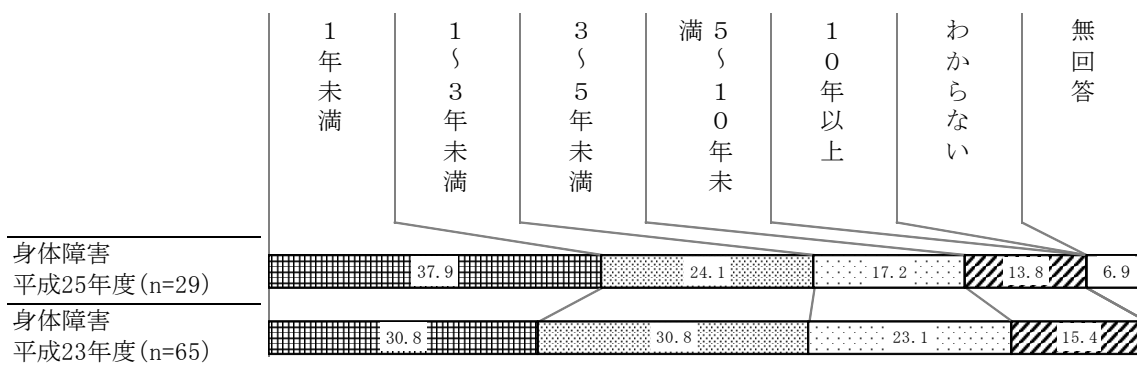


[前回調査との比較]

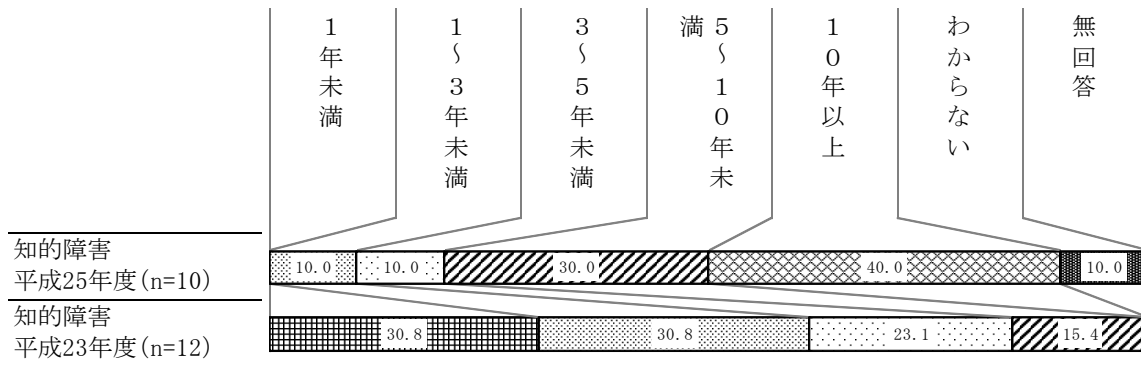
身体障害では、前回調査と比較して「1年未満」が7.1ポイント増加した。一方で、「1～3年未満」が6.7ポイント、「3～5年未満」が5.9ポイント減少した。

知的障害と精神障害については回答数が少ないため、参考として記載する。

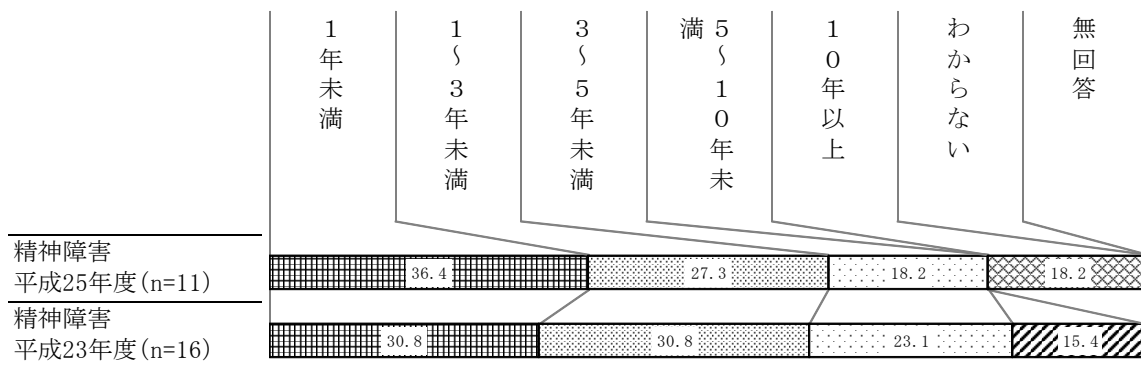
身体障害



知的障害



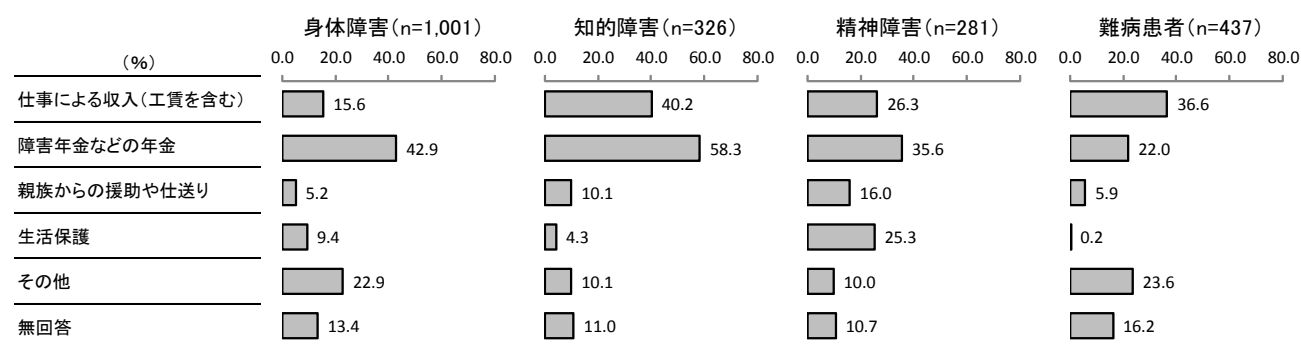
精神障害



(7) 就労について

①あなたの収入はどれですか（あてはまる番号すべて）

身体障害では「障害年金などの年金」が 42.9%で最も多く、「仕事による収入」が 15.6%でこれに次いだ。知的障害では「障害年金などの年金」が 58.3%で最も多く、「仕事による収入」が 40.2%でこれに次いだ。精神障害では「障害年金などの年金」が 35.6%で最も多く、「仕事による収入」が 26.3%でこれに次ぎ、「生活保護」が 25.3%で比較的多かった。難病患者では「仕事による収入」が 36.6%で最も多く、「障害年金などの年金」が 22.0%でこれに次いだ。



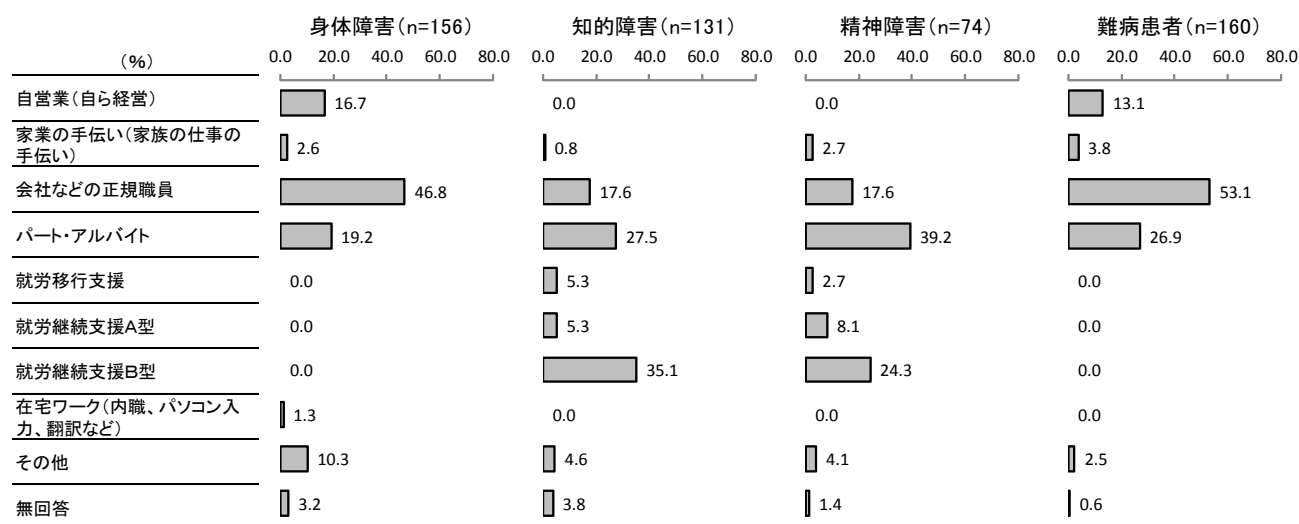
[前回調査との比較]

前回調査に比べて、身体障害では「障害年金などの年金」が 9.3 ポイント減少し、「その他」が 9.5 ポイント増加した。知的障害では大きな変動は見られなかった。精神障害では、「仕事による収入」が 8.6 ポイント増加し、「障害年金などの年金」が 16.2 ポイント減少した。

選択肢	身体障害			知的障害			精神障害		
	平成23年度 (%)	平成25年度 (%)	変化	平成23年度 (%)	平成25年度 (%)	変化	平成23年度 (%)	平成25年度 (%)	変化
仕事による収入(工賃を含む)	14.1	15.6		38.7	40.2		17.7	26.3	△
障害年金などの年金	52.2	42.9	▼	62.1	58.3		51.8	35.6	▼
親族からの援助や仕送り	4.1	5.2		9.6	10.1		14.8	16.0	
生活保護	8.9	9.4		4.4	4.3		28.0	25.3	
その他	13.4	22.9	△	13.6	10.1		9.6	10.0	
無回答	17.1	13.4		12.7	11.0		6.7	10.7	

②現在、収入（工賃を含む）がある仕事をしていますか（あてはまる番号1つ）

身体障害では「会社などの正規職員」が46.8%で最も多く、「パート・アルバイト」が19.2%でこれに次いだ。知的障害では「就労継続支援B型」が35.1%で最も多く、「パート・アルバイト」が27.5%でこれに次いだ。精神障害では「パート・アルバイト」が39.2%で最も多く、「就労継続支援B型」が24.3%でこれに次いだ。難病患者では「会社などの正規職員」が53.1%で最も多く、「パート・アルバイト」が26.9%でこれに次いだ。



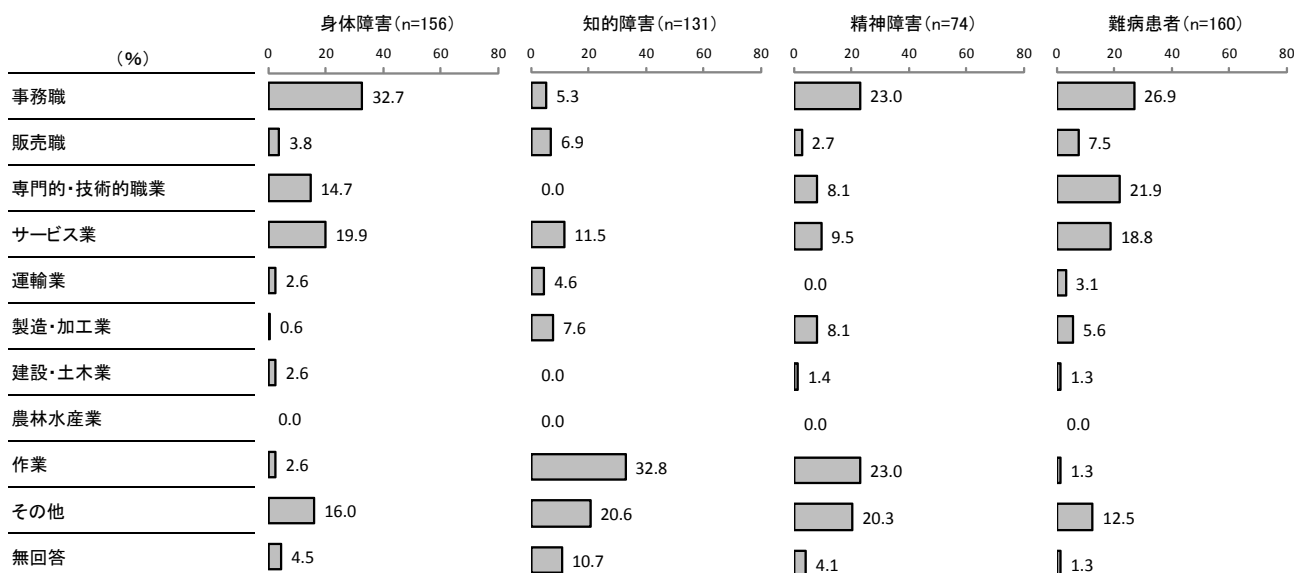
[前回調査との比較]

前回調査に比べて、身体障害では「正社員」が17.6ポイント増加し、「パート・アルバイト」が11.5ポイント減少した。知的障害では「正社員」が10.2ポイント減少し、「パート・アルバイト」が8.8ポイント増加した。精神障害では、「正社員」と「パート・アルバイト」が14.9ポイントと6.6ポイント減少し、「作業所」が5.1ポイント増加した。

選択肢	身体障害				知的障害				精神障害			
	平成20年度 (%)	平成23年度 (%)	平成25年度 (%)	変化	平成20年度 (%)	平成23年度 (%)	平成25年度 (%)	変化	平成20年度 (%)	平成23年度 (%)	平成25年度 (%)	変化
正社員	13.9	29.2	46.8	△	20.6	27.8	17.6	▼	15.4	32.5	17.6	▼
パート・アルバイト	7.9	30.7	19.2	▼	11.3	18.7	27.5	△	24.3	45.8	39.2	▼
作業所	1.2	4.5	0.0		28.1	47.6	45.7		9.7	30.0	35.1	△

③現在、どのような職種で仕事をしていますか。(あてはまる番号すべて)

身体障害では「事務職」が 32.7%で最も多く、「サービス業」が 19.9%でこれに次いだ。知的障害では「作業」が 32.8%で最も多く、「サービス業」が 11.5%でこれに次いだ。精神障害では「事務職」と「作業」が 23.0%で最も多かった。難病患者では「事務職」が 26.9%で最も多く、「専門的・技術的職業」が 21.9%でこれに次いだ。



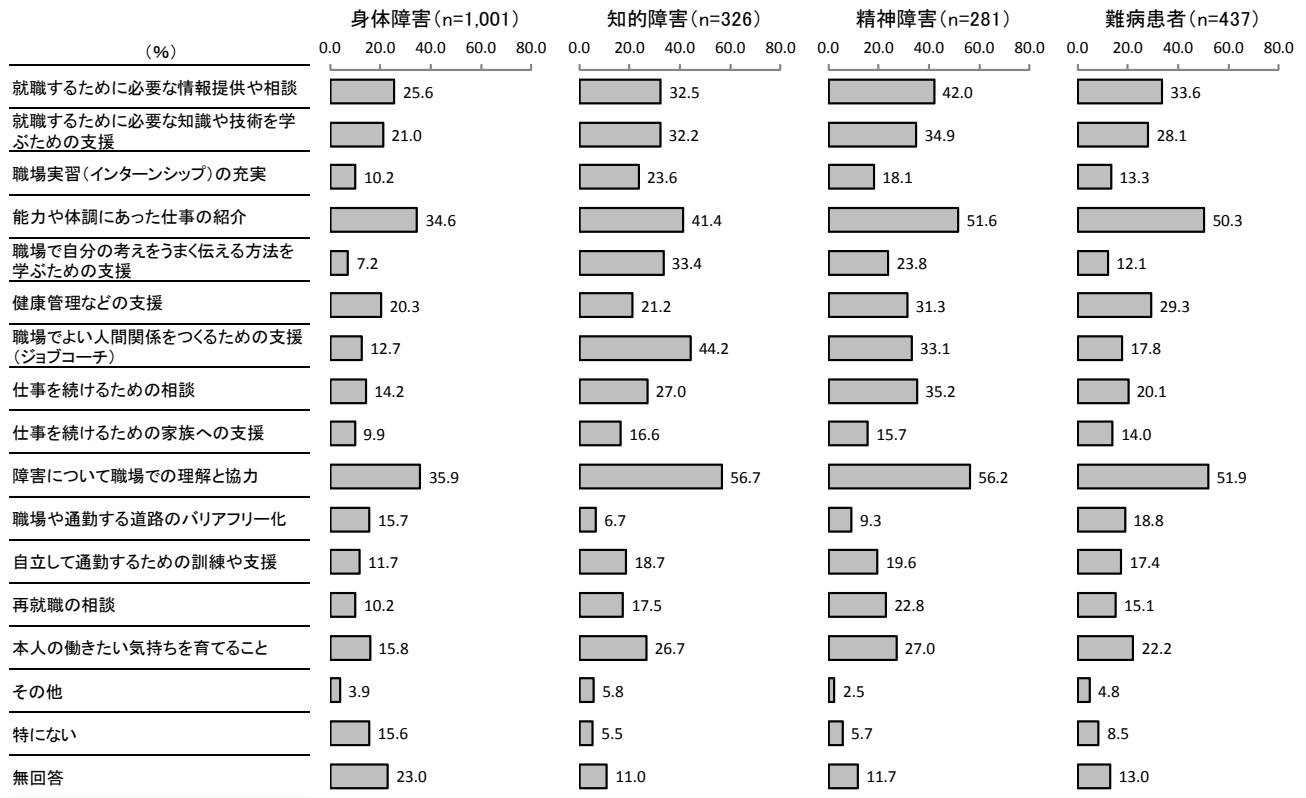
④どのような仕事をしたいと思いますか。(あてはまる番号すべて)

身体障害では「会社などの正規職員」や「パート・アルバイト」で<現状>が<希望>を 37.1 ポイントと 12.9 ポイント上まわった。知的障害では「会社などの正規職員」で<希望>が<現状>を 4.2 ポイント上まわった。精神障害では「会社などの正規職員」で<希望>が<現状>を 7.0 ポイント上まわった。難病患者では「会社などの正規職員」や「パート・アルバイト」で<現状>が<希望>を 29.5 ポイントと 9.1 ポイント上まわった。

単位:%	現 状				希 望			
	身体(n=156)	知的(n=131)	精神(n=74)	難病(n=160)	身体(n=156)	知的(n=131)	精神(n=74)	難病(n=160)
自営業 (自ら経営)	16.7	0.0	0.0	13.1	6.2	0.3	8.5	8.9
家業の手伝い (家族の仕事の手伝い)	2.6	0.8	2.7	3.8	1.8	3.1	6.4	2.5
会社などの正規職員	46.8	17.6	17.6	53.1	9.7	21.8	24.6	23.6
パート・アルバイト	19.2	27.5	39.2	26.9	6.3	11.0	24.6	17.8
就労移行支援	0.0	5.3	2.7	0.0	0.7	5.5	6.4	1.1
就労継続支援A型	0.0	5.3	8.1	0.0	0.6	7.7	4.3	1.4
就労継続支援B型	0.0	35.1	24.3	0.0	0.7	23.9	7.8	1.4
在宅ワーク (内職、パソコン入力、翻訳など)	1.3	0.0	0.0	0.0	2.6	0.3	6.8	4.8

⑤障害者が働くために何が重要だと思いますか（あてはまる番号すべて）

身体障害では「障害について職場での理解と協力」が 35.9%で最も多く、「能力や体調にあった仕事の紹介」が 34.6%でこれに次いだ。知的障害では「障害について職場での理解と協力」が 56.7%で最も多く、「職場でよい人間関係をつくるための支援」が 44.2%でこれに次いだ。精神障害では「障害について職場での理解と協力」が 56.2%で最も多く、「能力や体調にあった仕事の紹介」が 51.6%でこれに次いだ。難病患者では「障害について職場での理解と協力」が 51.9%で最も多く、「能力や体調にあった仕事の紹介」が 50.3%でこれに次いだ。



[前回調査との比較]

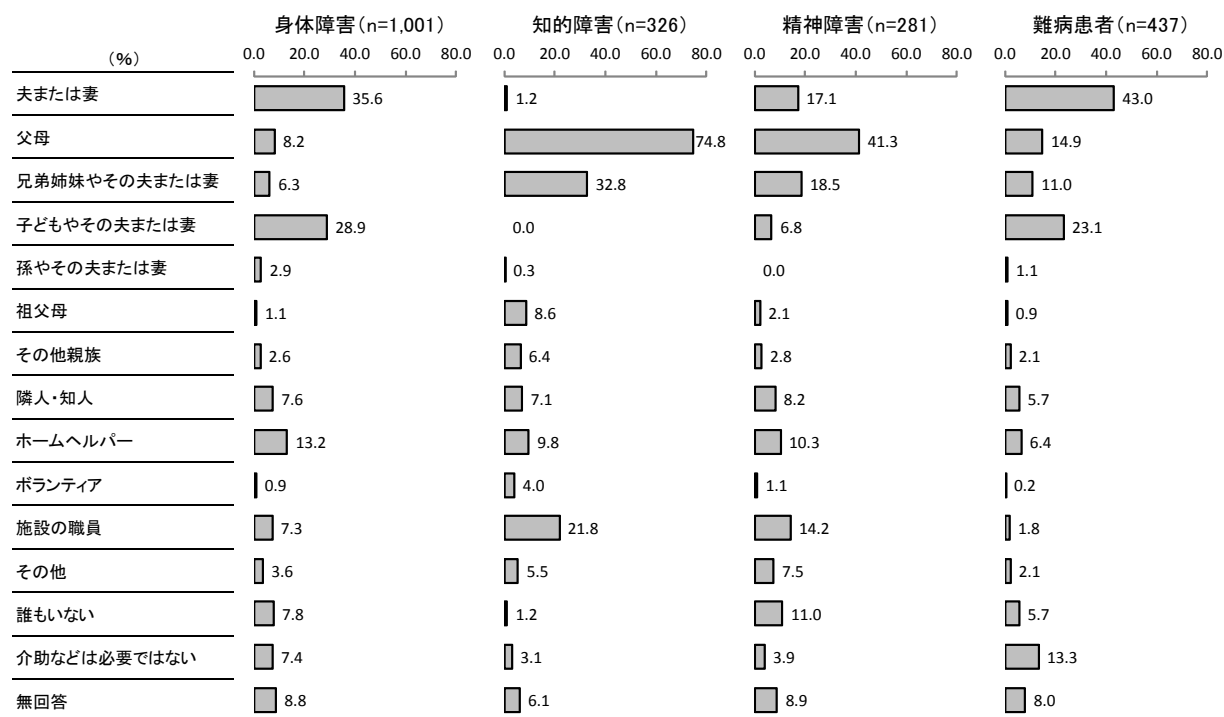
前回調査に比べて、身体障害では「障害について職場での理解と協力」が 14.4 ポイント、「就職するために必要な知識や技術を学ぶための支援」が 7.3 ポイント増加した。知的障害では「職場でよい人間関係をつくるための支援」が 23.8 ポイント、「障害について職場での理解と協力」が 20.8 ポイント増加した。精神障害では、「就職するために必要な情報提供や相談」が 20.9 ポイント、「職場でよい人間関係をつくるための支援」が 18.5 ポイント増加した。

選択肢	身体障害				知的障害				精神障害			
	平成20年度 (%)	平成23年度 (%)	平成25年度 (%)	変化	平成20年度 (%)	平成23年度 (%)	平成25年度 (%)	変化	平成20年度 (%)	平成23年度 (%)	平成25年度 (%)	変化
能力や体調にあった仕事の紹介	21.7	28.7	34.6	△	29.7	30.6	41.4	△	30.0	41.3	51.6	△
障害について職場での理解と協力	19.1	21.5	35.9	△	28.4	35.9	56.7	△	23.9	39.0	56.2	△
就職するために必要な情報提供や相談	17.7	20.9	25.6		12.3	14.4	32.5	△	21.8	21.1	42.0	△
就職するために必要な知識や技術を学ぶための支援	11.7	13.7	21.0	△	15.2	13.6	32.2	△	18.2	18.9	34.9	△
職場でよい人間関係をつくるための支援(ジョブコーチ)	4.2	5.1	12.7	△	19.3	20.4	44.2	△	7.4	14.6	33.1	△

(8) 介助者について

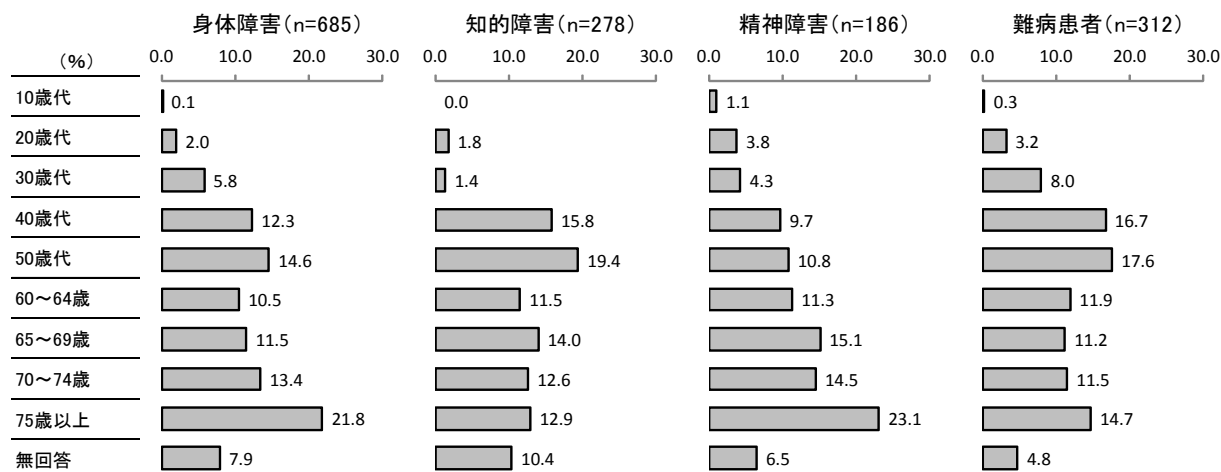
① 介助や支援など、あなたを支えてくれる人はどなたですか（あてはまる番号すべて）

身体障害では「夫または妻」が 35.6%で最も多く、「子供やその夫または妻」が 28.9%でこれに次いだ。知的障害では「父母」が 74.8%で最も多く、「兄弟姉妹やその夫または妻」が 32.8%でこれに次いだ。精神障害では「父母」が 41.3%で最も多く、「兄弟姉妹やその夫または妻」が 18.5%でこれに次いだ。難病患者では「夫または妻」が 43.0%で最も多く、「子供やその夫または妻」が 23.1%でこれに次いだ。

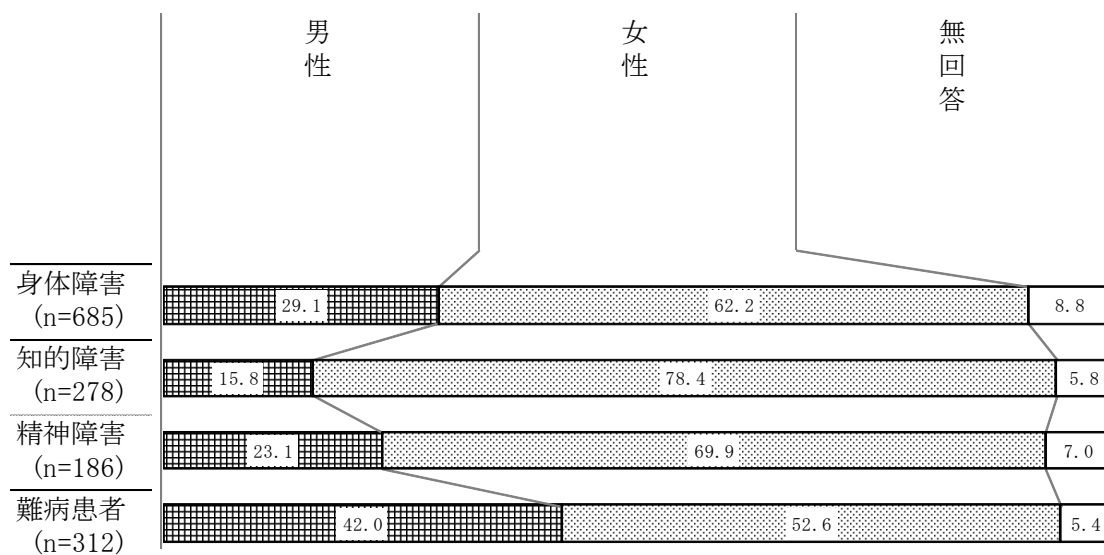


② おもな介助者の年齢・性別

年齢については、身体障害では「75歳以上」が 21.8%で最も多く、「50歳代」が 14.6%でこれに次いだ。知的障害では「50歳代」が 19.4%で最も多く、「40歳代」が 15.8%でこれに次いだ。精神障害では「75歳以上」が 23.1%で最も多く、「65～69歳」が 15.1%でこれに次いだ。難病患者では「50歳代」が 17.6%で最も多く、「40歳代」が 16.7%でこれに次いだ。

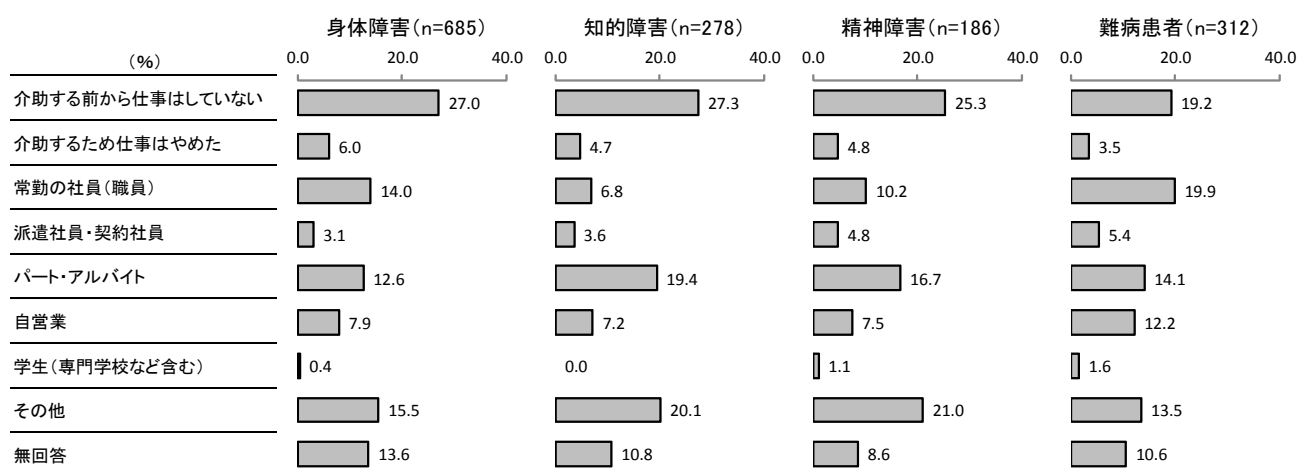


性別については、身体障害では「男性」が 29.1%、「女性」が 62.2%となった。知的障害では「男性」が 15.8%、「女性」が 78.4%となった。精神障害では「男性」が 23.1%、「女性」が 69.9%となった。難病患者では「男性」が 42.0%、「女性」が 52.6%となった。



③おもな介助者の現在の仕事についておうかがいします

身体障害では「介助する前から仕事はしていない」が 27.0%で最も多く、「常勤の社員」が 14.0%でこれに次いだ。知的障害では「介助する前から仕事はしていない」が 27.3%で最も多く、「パート・アルバイト」が 19.4%でこれに次いだ。精神障害では「介助する前から仕事はしていない」が 25.3%で最も多く、「パート・アルバイト」が 16.7%でこれに次いだ。難病患者では「常勤の社員」が 19.9%で最も多く、「介助する前から仕事はしていない」が 19.2%でこれに次いだ。



[前回調査との比較]

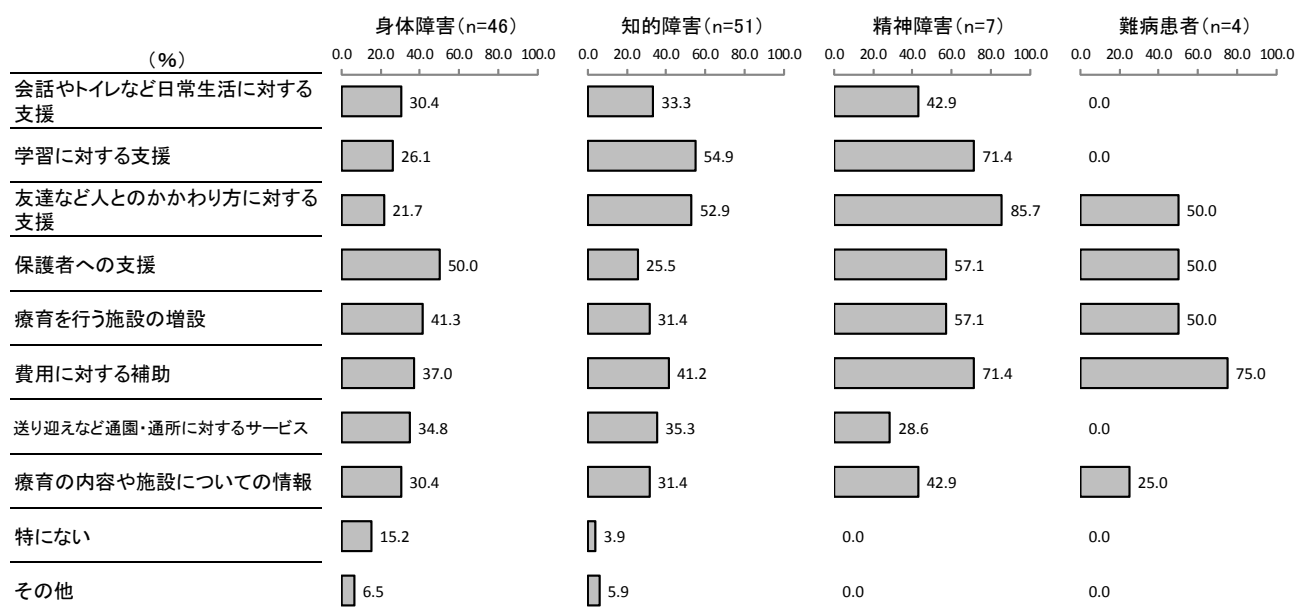
前回調査に比べて、身体障害では「介助する前から仕事はしていない」と「常勤の社員」が6.9ポイントと5.8ポイント増加した。知的障害では「介助するため仕事はやめた」が5.7ポイント減少した。精神障害では、「介助する前から仕事はしていない」が9.0ポイント増加した。

選択肢	身体障害			知的障害			精神障害		
	平成 23年度 (%)	平成 25年度 (%)	変化	平成 23年度 (%)	平成 25年度 (%)	変化	平成 23年度 (%)	平成 25年度 (%)	変化
介助する前から仕事はしていない	20.1	27.0	△	24.8	27.3		16.3	25.3	△
介助するため仕事はやめた	7.7	6.0		10.4	4.7	▼	5.7	4.8	
常勤の社員(職員)	8.2	14.0	△	5.9	6.8		13.0	10.2	
派遣社員・契約社員	3.0	3.1		1.5	3.6		3.3	4.8	
パート・アルバイト	10.9	12.6		16.1	19.4		14.1	16.7	
自営業	9.4	7.9		8.9	7.2		6.0	7.5	
学生(専門学校など含む)	0.8	0.4		0.7	0.0		0.5	1.1	
その他	13.6	15.5		15.1	20.1	△	21.1	21.0	
無回答	26.2	13.6	▼	16.6	10.8	▼	20.1	8.6	▼

(9) 障害児について

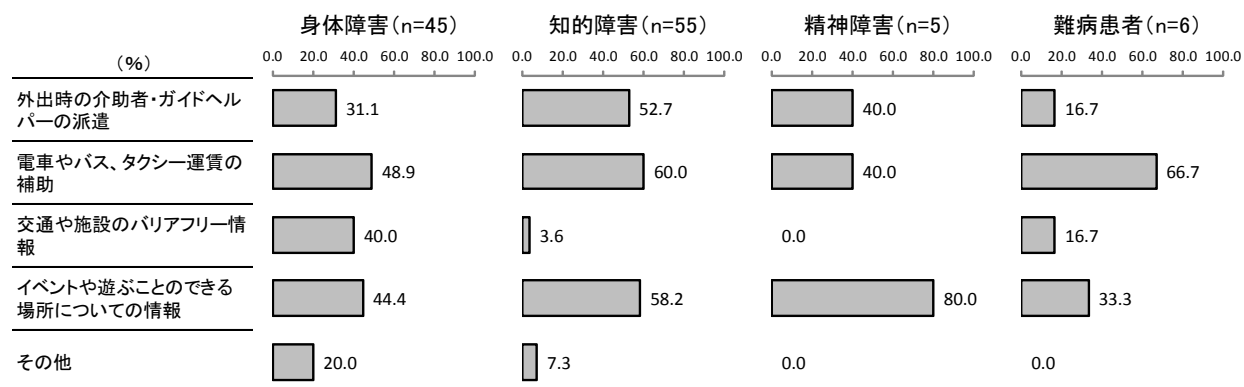
①子どもが受けている療育について、充実を望むものは何ですか（あてはまる番号すべて）

身体障害では「保護者への支援」が50.0%で最も多く、「療育を行う施設の増設」が41.3%でこれに次いだ。知的障害では「学習に対する支援」が54.9%で最も多く、「友達など人とのかかわり方に対する支援」が52.9%でこれに次いだ。精神障害では「友達など人とのかかわり方に対する支援」が85.7%で最も多く、「学習に対する支援」と「費用に対する補助」が71.4%でこれに次いだ。難病患者では「費用に対する補助」が75.0%で最も多かった。



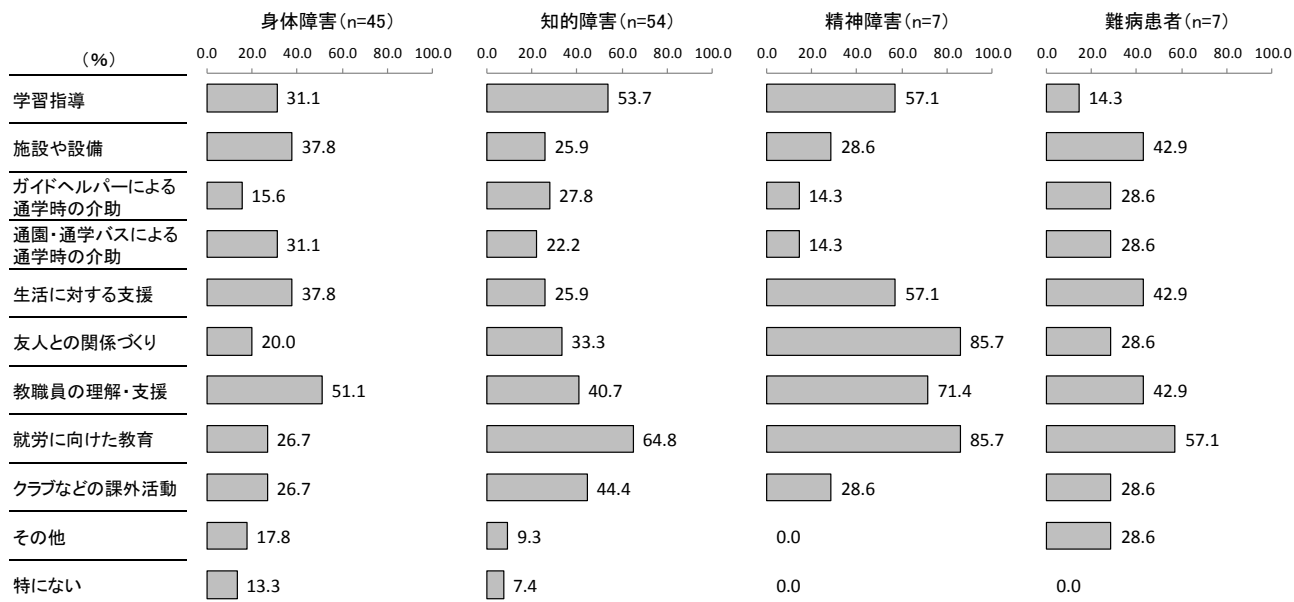
②子どもの外出時にどのような支援やサービスが必要だと思いますか（あてはまる番号すべて）

身体障害では「電車やバス、タクシー運賃の補助」が48.9%で最も多く、「イベントや遊ぶことのできる場所についての情報」が44.4%でこれに次いだ。知的障害では「電車やバス、タクシー運賃の補助」が60.0%で最も多く、「イベントや遊ぶことのできる場所についての情報」が58.2%でこれに次いだ。精神障害では「イベントや遊ぶことのできる場所についての情報」が80.0%で最も多く、難病患者では「電車やバス、タクシー運賃の補助」が66.7%で最も多かった。



③就学後（小学生～高校生）のお子さんが受けている教育や、学校生活について、さらに充実させるべきだと思う点がありますか（あてはまる番号すべて）

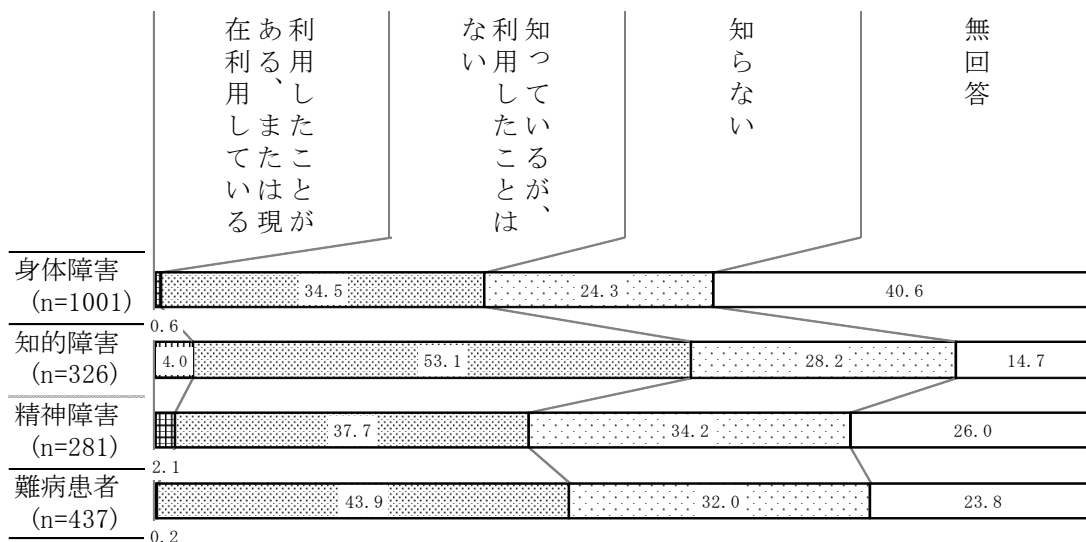
身体障害では「教職員の理解・支援」が51.1%で最も多く、「施設や設備」と「生活に対する支援」が37.8%でこれに次いだ。知的障害では「就労に向けた教育」が64.8%で最も多く、「学習指導」が53.7%でこれに次いだ。精神障害では「友人との関係づくり」と「就労に向けた教育」が85.7%で最も多く、難病患者では「就労に向けた教育」が57.1%で最も多かった。



(10) 成年後見について

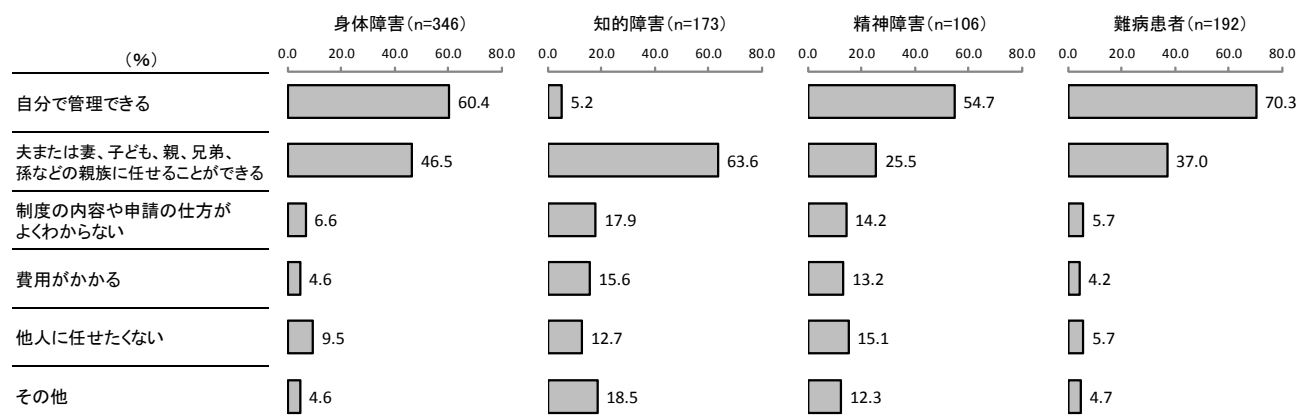
①あなたは、「成年後見制度」について知っていますか。また、利用したことはありますか（あてはまる番号1つに○）

「知っているが、利用したことはない」が身体障害 34.5%、知的障害が 53.1%、精神障害が 37.7%、難病患者が 43.9%となっており、「利用したことがある、または現在利用している」は知的障害が 4.0%となった。



②「成年後見制度」を利用しない理由は何ですか（あてはまる番号すべて）

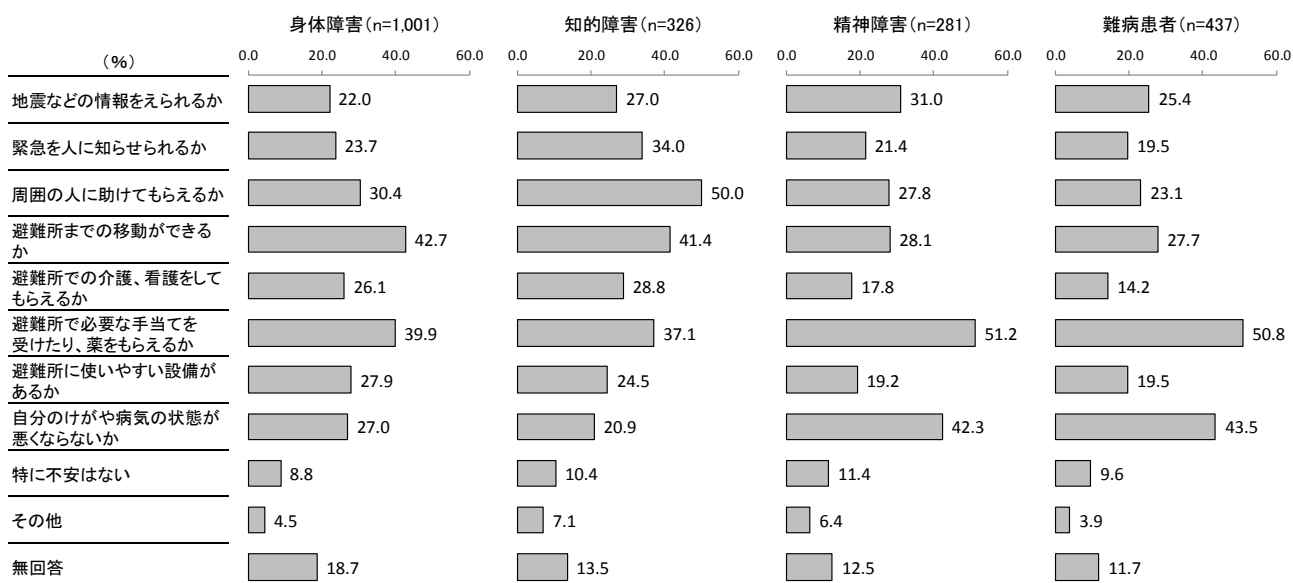
身体障害、精神障害、難病患者では「自分で管理できる」がそれぞれ 60.4%、54.7%、70.3%で最も多く、「夫または妻、子ども、親、兄弟、孫などの親戚に任せることができる」がそれぞれ 46.5%、25.5%、37.0%で次いだ。知的障害では「夫または妻、子ども、親、兄弟、孫などの親戚に任せることができる」が 63.6%で最も多く、「その他」が 18.5%でこれに次いだ。



(11) 災害対策について

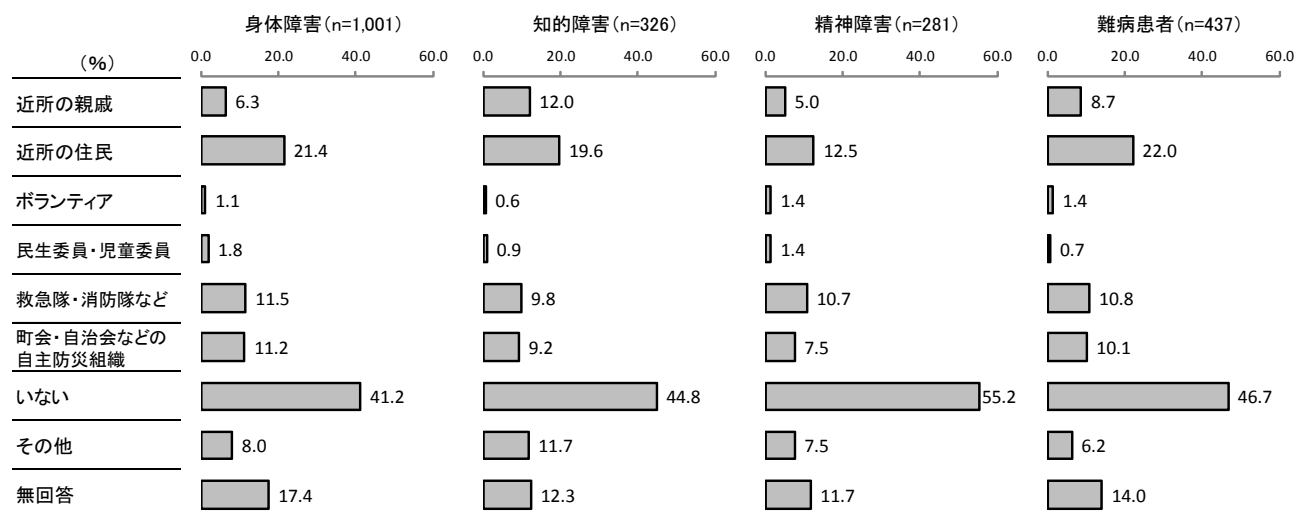
①あなたが地震や火災などの災害への不安として感じることは何ですか（あてはまる番号すべて）

身体障害では「避難所までの移動ができるか」が42.7%で最も多く、「避難所で必要な手当てを受けたり、薬をもらえるか」が39.9%でこれに次いだ。知的障害では「周囲の人に助けをもらえるか」が50.0%で最も多く、「避難所までの移動ができるか」が41.4%でこれに次いだ。精神障害では「避難所で必要な手当てを受けたり、薬をもらえるか」が51.2%で最も多く、「自分のけがや病気の状態が悪くならないか」が42.3%でこれに次いだ。難病患者では「避難所で必要な手当てを受けたり、薬をもらえるか」が50.8%で最も多く、「自分のけがや病気の状態が悪くならないか」が43.5%でこれに次いだ。



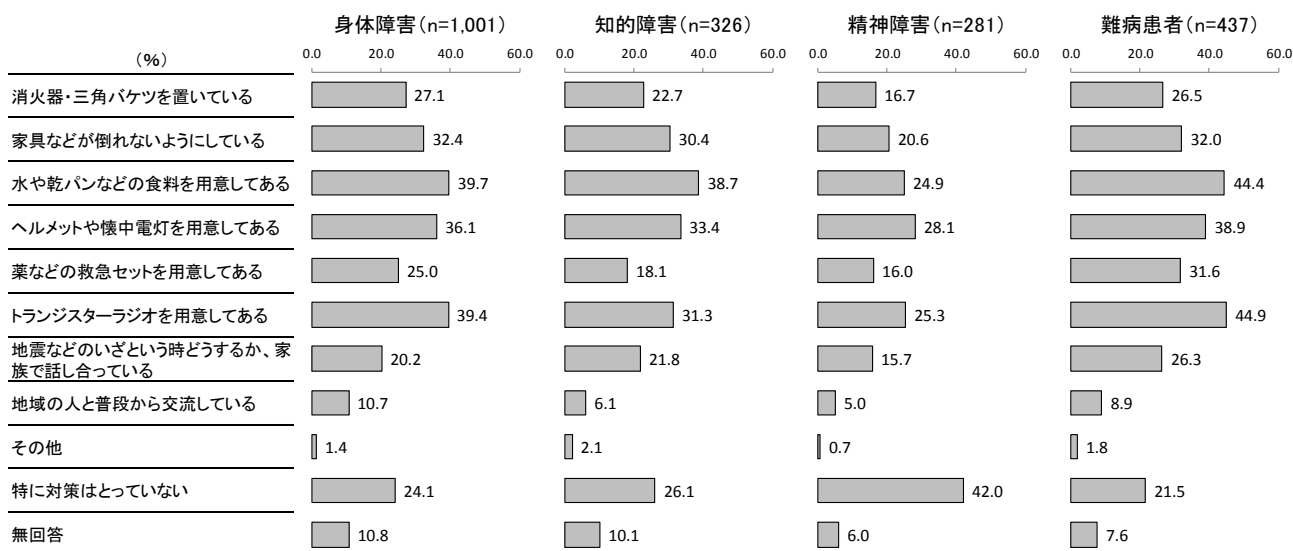
②災害の時、あなたの避難を助けてくれる家族以外の方はいますか（あてはまる番号すべて）

身体障害、知的障害、精神障害、難病患者では「いない」がそれぞれ41.2%、44.8%、55.2%、46.7%で最も多く、「近所の住民」がそれぞれ21.4%、19.6%、12.5%、22.0%で次いだ。



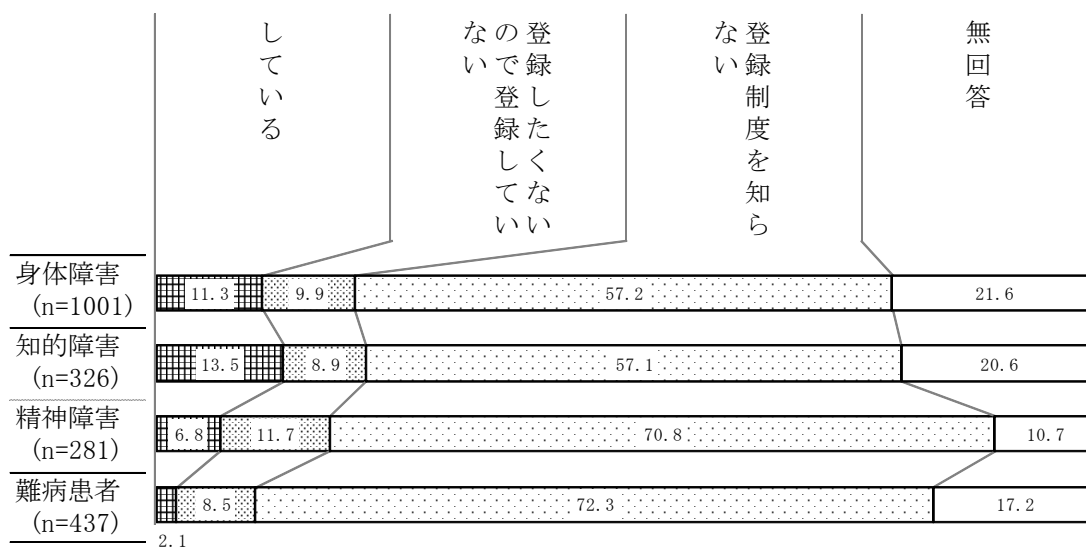
③あなたは、災害に備えて特別な対策をとっていますか（あてはまる番号すべて）

身体障害では「水や乾パンなどの食料を用意してある」が39.7%で最も多く、「トランジスターラジオを用意してある」が39.4%でこれに次いだ。知的障害では「水や乾パンなどの食料を用意してある」が38.7%で最も多く、「ヘルメットや懐中電灯を用意してある」が33.4%でこれに次いだ。精神障害では「特に対策はとっていない」が42.0%で最も多く、「ヘルメットや懐中電灯を用意してある」が28.1%でこれに次いだ。難病患者では「トランジスターラジオを用意してある」が44.9%で最も多く、「水や乾パンなどの食料を用意してある」が44.4%でこれに次いだ。



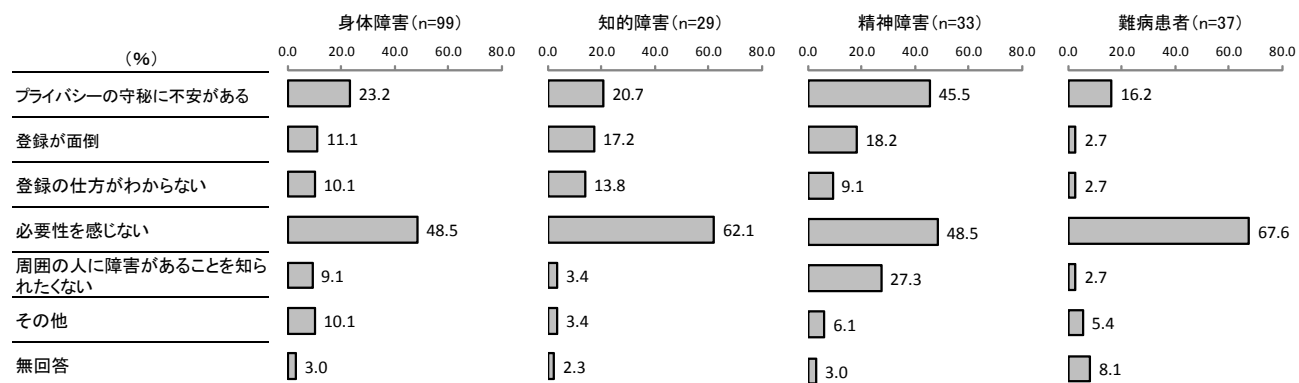
④災害時要援護者の登録をしていますか（あてはまる番号1つに○）

「している」は身体障害が11.3%、知的障害が13.5%、精神障害が6.8%、難病患者が2.1%となっている。一方、「登録制度を知らない」は身体障害が57.2%、知的障害が57.1%、精神障害が70.8%、難病患者が72.3%となっている。



⑤未登録の理由は何ですか（あてはまる番号すべて）

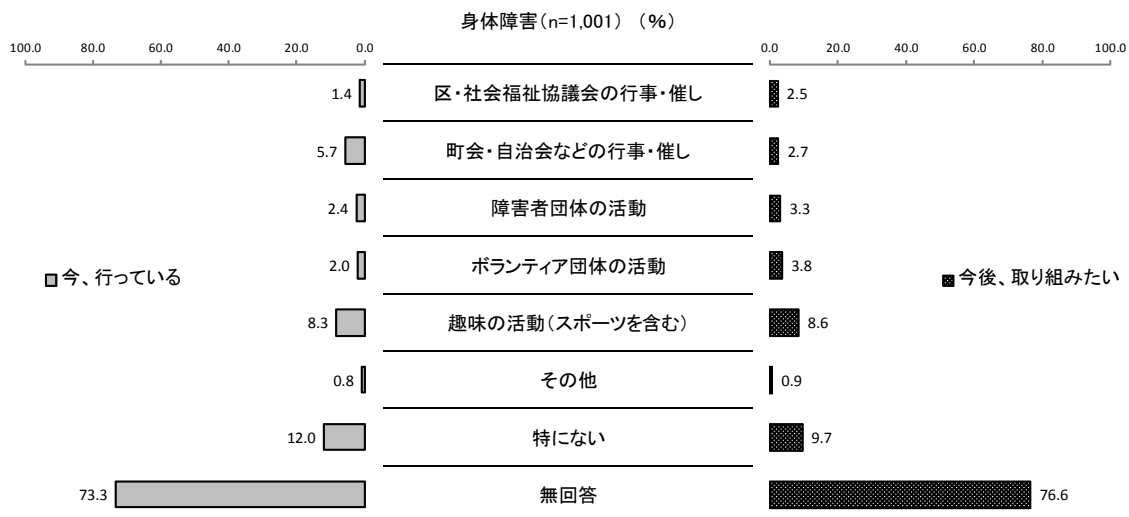
身体障害、知的障害、精神障害、難病患者では「必要性を感じない」がそれぞれ 48.5%、62.1%、48.5%、67.6%で最も多く、「プライバシーの守秘に不安がある」が 23.2%、20.7%、45.5%、16.2%でこれに次いだ。



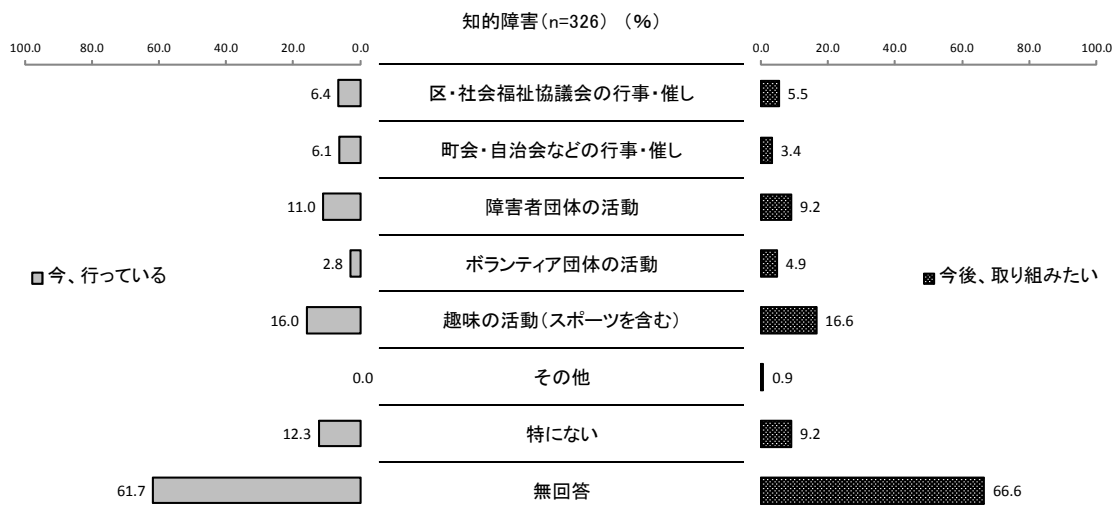
(12) 社会参加について

①あなたが今行っている社会活動は何ですか。あなたが今後取り組みたい社会活動は何ですか。(あてはまるものすべて)

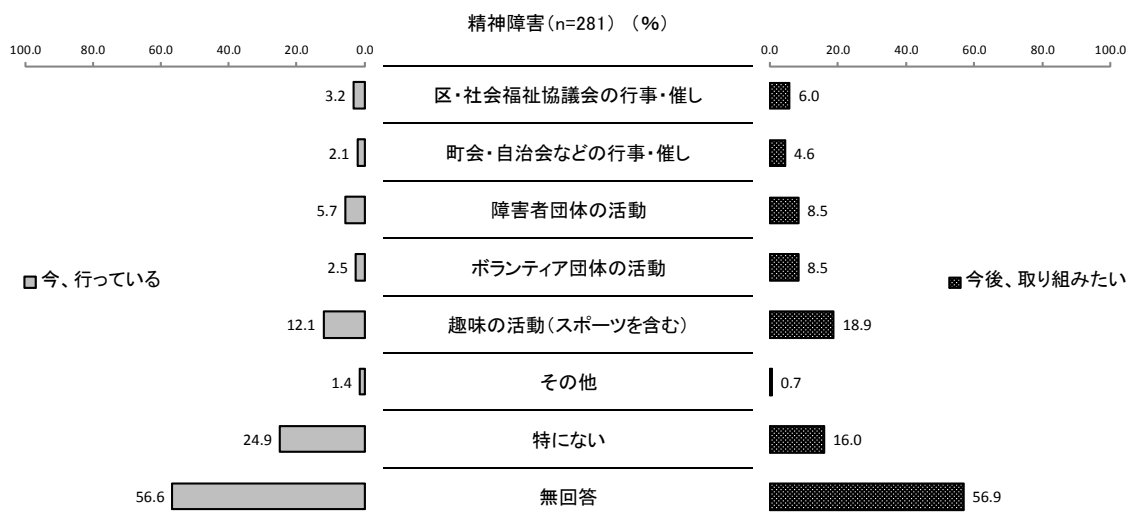
身体障害では、全体的に「無回答」が多く、他の項目は1割未満である。



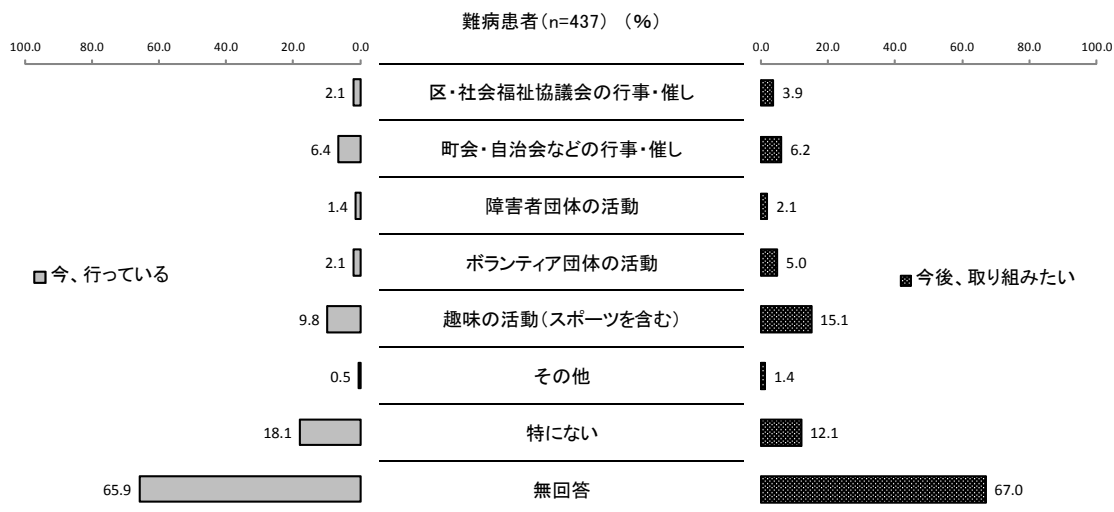
知的障害では、全体的に「無回答」が多く、「障害者団体の活動」と「趣味の活動(スポーツを含む)」が1割強《今、行っている》となっており、《今後、取り組みたい》は「趣味の活動(スポーツを含む)」が16.6%となっている。



精神障害では、全体的に「無回答」が多く、「趣味の活動（スポーツを含む）」は《今、行っている》が12.1%、《今後、取り組みたい》が18.9%となっている。

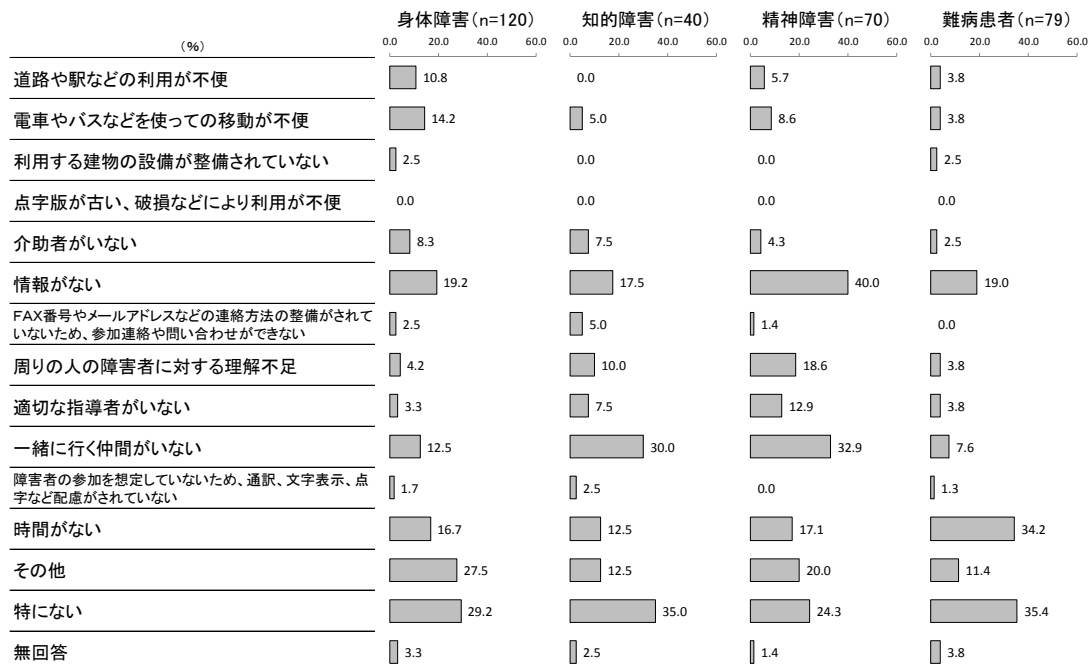


難病患者では、全体的に「無回答」が多く、《今、行っている》は1割未満、《今後、取り組みたい》は「趣味の活動（スポーツを含む）」が15.1%となっている



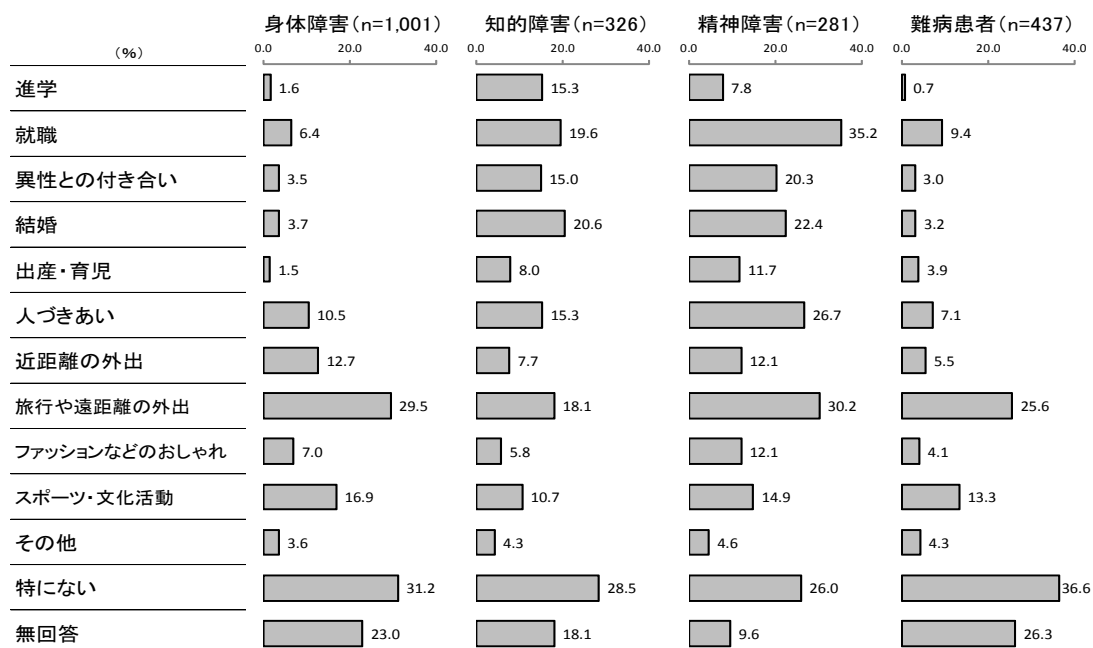
②社会活動を行っていない理由は何ですか（あてはまる番号すべて）

身体障害では「情報がない」が19.2%で最も多く、「時間がない」が16.7%でこれに次いだ。知的障害では「一緒に行く仲間がいない」が30.0%で最も多く、「情報がない」が17.5%でこれに次いだ。精神障害では「情報がない」が40.0%で最も多く、「一緒に行く仲間がいない」が32.9%でこれに次いだ。難病患者では「時間がない」が34.2%で最も多く、「情報がない」が19.0%でこれに次いだ。



③障害があるために諦めたり妥協をしたことはありますか（あてはまる番号すべて）

身体障害では「旅行や遠距離の外出」が29.5%で最も多く、「スポーツ・文化活動」が16.9%でこれに次いだ。知的障害では「結婚」が20.6%で最も多く、「就職」が19.6%でこれに次いだ。精神障害では「就職」が35.2%で最も多く、「旅行や遠距離の外出」が30.2%でこれに次いだ。難病患者では「旅行や遠距離の外出」が25.6%で最も多く、「スポーツ・文化活動」が13.3%でこれに次いだ。



④あなたが、今後、必要だと思うものを下記の中から選んでください（あてはまる番号3つまで）

身体障害では「相談窓口や情報提供の充実」が28.3%で最も多く、「段差などがなく利用しやすい公共施設、交通機関などの整備」が26.4%でこれに次いだ。知的障害では「グループホームなど地域での生活の場の整備」と「障害への理解や交流の促進」が33.4%で最も多く、「就労に向けた支援や雇用環境の整備」が31.6%でこれに次いだ。精神障害では「相談窓口や情報提供の充実」が39.9%で最も多く、「就労に向けた支援や雇用環境の整備」が34.2%でこれに次いだ。難病患者では「相談窓口や情報提供の充実」が35.2%で最も多く、「段差などがなく利用しやすい公共施設、交通機関などの整備」が22.9%でこれに次いだ。

